

あつけし未来会議
～まちづくりワークショップ～
結果報告書

令和6年1月

厚岸町

目次

1. 目的.....	1
2. 概要.....	1
(1) 開催日及び場所	1
(2) 会場配置図	1
(3) テーマ	2
(4) 各回の実施概要	3
3. 各回の結果.....	7
(1) 第1回【町の概要等】	7
①概要	7
②主な意見	7
(2) 第2回【生活環境・都市基盤部門】	9
①概要	9
②各班の発表内容	9
(3) 第3回【保健・医療・福祉部門】【教育部門】	15
①概要	15
②各班の発表内容	15
(4) 第4回【産業経済部門】【政策支援・行財政部門】	25
①概要	25
②各班の発表内容	25
4. まとめ.....	32
5. 後期行動計画の策定にあたって	34
資料	35

1. 目的

現在、厚岸町では令和2年度からの10年間を計画期間とする『第6期厚岸町総合計画』に沿ってまちづくりを進めていますが、計画策定から3年が経過し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、計画策定時には想定していなかった社会情勢の変化が生じており、計画の推進に大きな影響を与えています。

こうした状況の中、総合計画に掲げた『めざすまちの姿』を確実に実現させるためには、厚岸町を取り巻く状況変化を踏まえた、新たな「まちづくりの指針」を定める必要があることから、『第6期厚岸町総合計画』の見直しに向けた取組を進めています。

本ワークショップは、『第6期厚岸町総合計画』の見直しにあたり、町民の方々の意見を広く聴き、計画づくりに生かすことを目的としています。

2. 概要

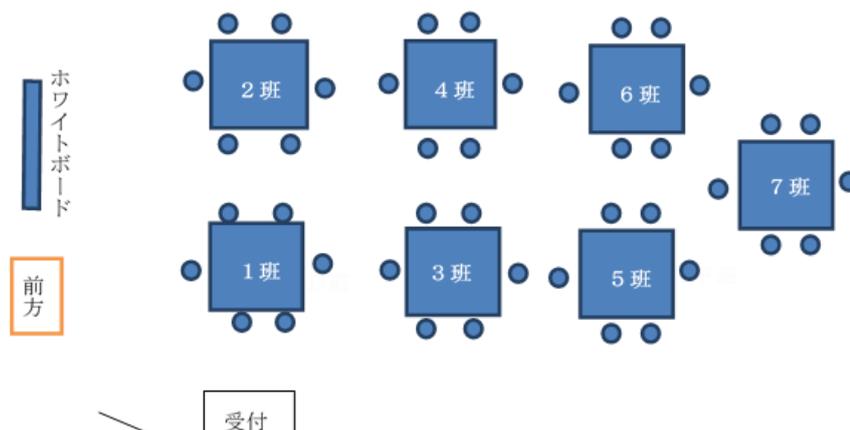
本ワークショップでは、前期行動計画の5つの分野について、課題ややるべきこと、地域や自分で取り組むことについて、町民と意見交換を行いました。

(1) 開催日及び場所

回	月日	参加者数	場所
第1回	9月30日(土)	39名	保健福祉総合センターあみか 21階検診スペース
第2回	10月21日(土)	33名	
第3回	11月11日(土)	32名	
第4回	12月2日(土)	25名	

(2) 会場配置図

厚岸町民を対象に、各回5～7班(各班5～6人程度で構成)で開催



(3) テーマ

回	テーマ
第1回	概要説明 町の状況 まちづくりへの要望
第2回	第1章 生活環境・都市基盤部門 ～自然と調和し、だれもが安全・安心して快適に暮らせるまち～
第3回	第3章 保健・医療・福祉部門 ～みんな笑顔で健やかに、つながり支え合うまち～ 第4章 教育部門 ～未来を切り拓く力を育み、豊かな人間性にあふれるまち～
第4回	第2章 産業経済部門 ～多彩な資源が輝き、活力と魅力にあふれるまち～ 第5章 政策支援・行財政部門 ～多様なつながりにより、共に生き、共に創り上げる持続可能なまち～



(4) 各回の実施概要

【第1回】

①開会

②あいさつ

③インプット

総合計画前期行動計画の概要、社会状況の変化、厚岸町を取り巻く状況（特に大きな変化）、大まかなスケジュール

④事務局及びコンサルタント紹介

⑤参加者自己紹介

氏名、所属、住まい、一言「いま一番関心のあること」（自分・家族・世相・趣味等、一人1分程度で）

⑥国の動きやまちづくりの考え方についての説明

・SDGs を考える理由

・自治体のデジタルトランスフォーメーション

・デジタル田園都市国家構想

・フォアキャストとバックキャストなどの一般論の解説

⑦ワークショップの進め方について

⑧グループワーク

分野を限定せず自由に町の全てのことについて現状・課題等を出し合う

⑨発表

⑩次回ワークショップに向けて

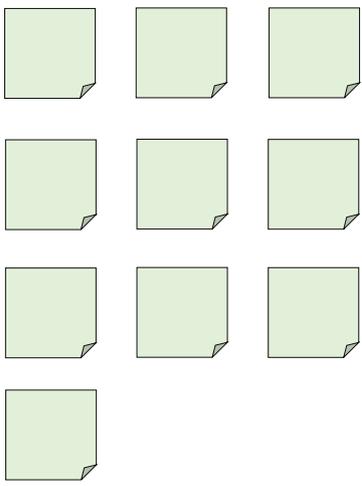
⑪閉会

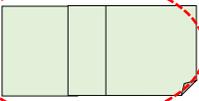
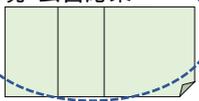
【第2回～第4回】

- ①開会
- ②進め方の説明
- ③ワークショップの開始

班内で「分野別の課題」を自由に出し合い、同じ意見はグループ分けする(45分)

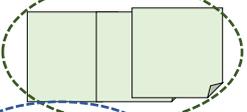
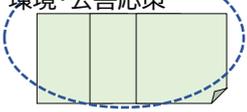
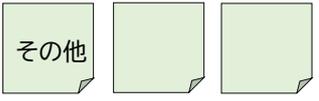
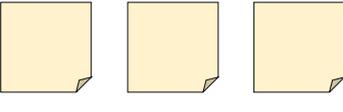
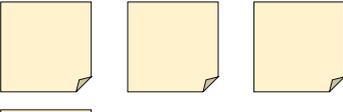
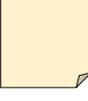
〈模造紙イメージ〉

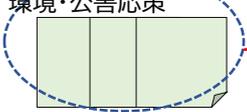
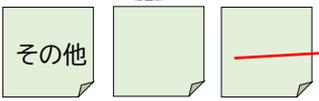
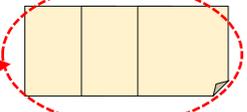
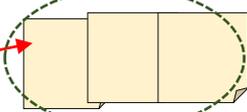
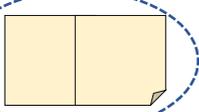
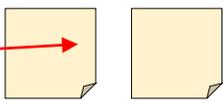
例 第1章 生活環境・都市基盤部門～自然と調和し、だれもが安全・安心して快適に暮らせるまち～		
分野別の課題	分野別のやるべきこと	地域や自分ですること
		

例 第1章 生活環境・都市基盤部門～自然と調和し、だれもが安全・安心して快適に暮らせるまち～		
分野別の課題	分野別のやるべきこと	地域や自分ですること
<p>防災対策</p>  <p>避難所・要支援者対応策</p>  <p>環境・公害応策</p>  <p>その他</p> 		

「分野別の課題」に対して「分野別のやるべきこと」を自由に出し合い、同じ意見はグループ分けする(40分)

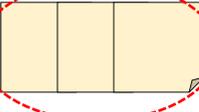
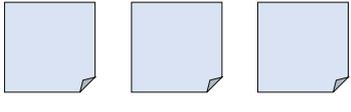
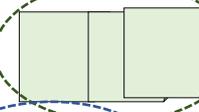
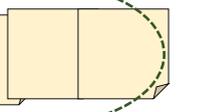
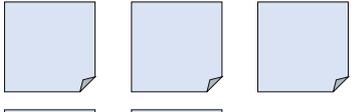
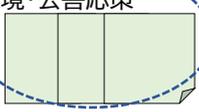
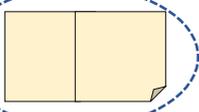
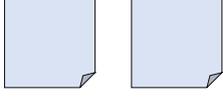
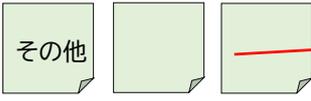
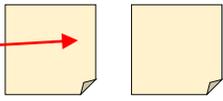
〈模造紙イメージ〉

例 第1章 生活環境・都市基盤部門～自然と調和し、だれもが安全・安心して快適に暮らせるまち～		
分野別の課題	分野別のやるべきこと	地域や自分ですること
<p>防災対策</p>  <p>避難所・要支援者対応策</p>  <p>環境・公害応策</p>  <p>その他</p> 	  	

例 第1章 生活環境・都市基盤部門～自然と調和し、だれもが安全・安心して快適に暮らせるまち～		
分野別の課題	分野別のやるべきこと	地域や自分ですること
<p>防災対策</p>  <p>避難所・要支援者対応策</p>  <p>環境・公害応策</p>  <p>その他</p> 	   	

「分野別のやるべきこと」に対して「地域や自分ですること」を自由に出し合い、同じ意見をグループ分けする(40分)

〈模造紙イメージ〉

例 第1章 生活環境・都市基盤部門～自然と調和し、だれもが安全・安心で快適に暮らせるまち～		
分野別の課題	分野別のやるべきこと	地域や自分ですること
<p>防災対策</p> 		
<p>避難所・要支援者対応策</p> 		
<p>環境・公害応策</p> 		
<p>その他</p> 		

各班で話し合った内容について班ごとに発表する

④終了

3. 各回の結果

(1) 第1回【町の概要等】

①概要

内容: 第1回ワークショップでは、ワークショップの概要や町の状況などについて事務局から説明を行いました。その後、各班から厚岸町の課題について話し合い、発表してもらいました。

日時: 令和5年9月30日(土)

人数: 39名

班数: 7

②主な意見

人口減少とそれに伴う担い手の確保

- ・厚岸町では人口減少が進んでおり、町で育った若者も就業等で都市部へ転出したまま戻ってこない状態である。その中で、厚岸町の強みである第一次産業も後継者不足に苦しんでいる。第一次産業以外の産業の育成なども視野に入れながら取組を進めていく必要があると考えられる。
- ・町外から転入してきた人が住みやすいように、排他的になるのではなく歓迎していく環境づくりをしていければよいと思う。

子育て環境の充実

- ・遊具が十分でなかったり、動物のフンなどで衛生環境が整っていないなど、町内の公園の整備が進んでおらず、子どもを外で遊ばせることが難しい状況である。また、大学進学までの金銭的な支援が必要ではないかと思う。小中学校の教師が厚岸町に住んでおらず、学校との関わりが希薄化してしまっている。

防災対策

- ・海に面しているため、防災施設を強化するべきだと思う。地震が発生したときに不安である。

観光やふるさと納税など町外との関係活発化

- ・宿泊施設が少ないため、厚岸町に観光で来ても日帰りで帰ってしまう。温泉などの宿泊施設を増やしたり、サウナ、キャンプ場、長期滞在できる施設を増やしていくべきだと思う。また、交通面では駅から観光地までの移動が遠いと感じる。
- ・SNS等での情報発信力が弱く、人材を育成したり外部からノウハウを入手するような取組が必要だと思う。

イベントの充実

- ・厚岸町は、厚岸大橋で隔てた町の構造や大きな港、道路が広いことが特色としてある。カキ祭り以外にも漁業体験会や特産品の発信を目的とした新しいイベントを始めたり、サイクリングや散歩コースを設定し、マラソン大会などが開催できればよいと思う。

そのほか

- ・夜遅くまで営業している飲食店が少なく、仕事終わりに集まることができる場所が少ない。また、タクシーが 20 時頃には営業を終えてしまうことも難点としてある。
- ・町在住のスポーツ選手を巻き込んだ取組を検討したり、独身の人たちが交流できる機会の創出、高齢者が町内で楽しく過ごすことができる環境づくりも必要だと思う。



(2) 第2回【生活環境・都市基盤部門】

①概要

内容: 第2回ワークショップでは、「第1章 生活環境・都市基盤部門～自然と調和し、だれもが安全・安心で快適に暮らせるまち～」について、分野別の課題ややるべきこと、地域や自分ですることについて話し合い、発表してもらいました。

日時: 令和5年10月21日(土)

人数: 33名

班数: 6

②各班の発表内容

【1班】

分野別の課題
<ul style="list-style-type: none">・赤潮や森林管理の対策・交通安全対策やJR、夜間のタクシー、除雪、厚岸大橋について

分野別のやるべきこと
<ul style="list-style-type: none">・赤潮については水質管理や発生したときの対策の検討、森林管理については伐採をしすぎないことや木を育てやすくすることなどが必要。・交通対策については、JRを活用したり、貨物の運送、タクシー運転手の人材確保、除雪情報の周知が必要。・リサイクルを心がける。・施設は広域化する。

地域や自分ですること
<ul style="list-style-type: none">・環境対策については苗木を1本ずつ植えたり、海や道路にポイ捨てしない。・交通についてはJRを活用する。・ごみステーションを有効に活用する。

【2班】

分野別の課題
<ul style="list-style-type: none">・使っていない土地の把握と有効活用・自然エネルギーの有効活用・上下水道の整備・消防・防災・公共交通・公園の整備

分野別のやるべきこと
<ul style="list-style-type: none"> ・<u>使っていない土地の把握と有効活用</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルの誘致 ・活用されていない土地の把握 ・<u>自然エネルギーの有効活用</u> <ul style="list-style-type: none"> ・空き地を利用して太陽光パネルを設置 ・<u>上下水道の整備</u> <ul style="list-style-type: none"> ・水道管の定期的な交換・検査 ・<u>消防・防災</u> <ul style="list-style-type: none"> ・救急車の適正利用の周知 ・救急車の利用料を課す ・防災無線の回数の見直し ・IPの利活用の検討 ・<u>公共交通</u> <ul style="list-style-type: none"> ・JRバスを活用するイベントの検討 ・<u>公園の整備</u> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設のフリーWi-Fi 整備

地域や自分ですること
<ul style="list-style-type: none"> ・ふだん取り組んでいる自治会活動等に積極的に参加することによって、地域とのつながり、個々のつながりをつくっていく。 ・地域とのつながり、個々のつながりを構築する中で、自分たちでやるべき方法を見つけていく。

【3班】

分野別の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・<u>都市計画について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・空き地、空き家の利活用がなされていない。 ・<u>消費生活について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・町内での消費が少ない。 ・<u>道路・公共交通について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・道路が冠水する。 ・タクシーの営業時間が20時までである。 ・<u>通信について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・5Gの回線が繋がらない。 ・<u>エネルギー・防災について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・再エネの導入が少ない。

分野別のやるべきこと
<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画について <ul style="list-style-type: none"> ・空き地、空き家の利活用がなされているかどうかを検討する。 ・大規模公園に遊具を集中的に整備する等で、子どもたちが遊べるところを増やす。 ・消費生活について <ul style="list-style-type: none"> ・需要をリサーチして、産業を活性化させる。 ・道路・公共交通について <ul style="list-style-type: none"> ・既存の交通手段の使い方を知る。教える。 ・通信について <ul style="list-style-type: none"> ・通信網の必要性を訴える。 ・エネルギー・防災について <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーを活用した防災面への備えを進める。

地域や自分ですること
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクの周知を進め、活用されやすい土壌を作る。 ・冠水した場合に対応するために税金を準備しておく。 ・町内のタクシー需要を高めるために、町内で買物をするように心がける。 ・雇用を増やしていくための産業構造などを地域ぐるみで考える。 ・買物バスの制度の周知を進める。公民館等で利用に関する説明会を行う。 ・避難場所として利用することを目的に公園にフリーWi-Fiを設置する。 ・公共施設への再エネ・発電機導入のため、町民・事業者に対して補助金を創設する。

【4班】

分野別の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・道路について <ul style="list-style-type: none"> ・空き家や、倒壊した家屋などが増えている。 ・町内の道路がガタガタである。 ・雨が降ると水たまりができる。 ・町内で冠水する地区がある。 ・人員の減少に伴い、冬場の除雪作業が大変になってきている。 ・公共交通について <ul style="list-style-type: none"> ・20時以降にタクシーを利用できない。 ・雨や雪の影響で鉄道がすぐに運休してしまう。 ・バスの便数が少ない。 ・公共交通手段の利用者数が減少している。 ・水道について <ul style="list-style-type: none"> ・上水道は春先になると塩素が強い水になる。 ・消費生活について <ul style="list-style-type: none"> ・服や靴が買えない。 ・飲食店が減少している。



分野別の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・<u>防災について</u> ・津波などの避難場所の再調査ができていない。 ・<u>公園について</u> ・公園が整備されていない。 ・<u>情報ネットワークについて</u> ・町内の光ネットワークが十分に活用されていない。

分野別のやるべきこと
<ul style="list-style-type: none"> ・町内のネットワークで使える、生活に密着した情報アプリを開発して町民に様々な情報を発信する(魚屋さんの干物が●時間後に店頭に出るなど)。 ・空き家の処分、道路の整備、水道の整備のために必要な財政を確保する。

地域や自分ですること
<ul style="list-style-type: none"> ・既存のインフラを活用する。 ・ふるさと納税を利用して、事業者と厚岸町が共に収入を増やす。

【5班】

分野別の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・<u>土地利用、環境保全、公園について</u> ・空き家がとても多い。 ・公園の衛生状況が悪い。 ・<u>公共交通機関について</u> ・バスやJR、タクシーなどのサービスが不便である。 ・<u>住宅関係について</u> ・組織の縦割りがあるため、空室を利用することができない。 ・<u>消費生活について</u> ・高齢者への特殊電話詐欺の増加 ・<u>消防・防災について</u> ・堤防等がなく、津波の被害が不安である。

分野別のやるべきこと
<ul style="list-style-type: none"> ・<u>土地利用、環境保全、公園について</u> ・公園環境の整備(草むらの整備、フリーWi-Fiの設置) ・公園に管理人を配置する。 ・ソーラーパネル等の設置 ・定年退職した町民にボランティア活動のほかにも有償で働ける環境を提供する。 ・<u>公共交通機関について</u> ・JR、バス、タクシーの公共交通機関の本数を増やす。

分野別のやるべきこと

- ・運転手を確保する。
- ・公共交通機関を使いたくなるような取組を行う。
- ・住宅関係について
 - ・アパートや貸し家の充実を図る。
 - ・町職員であっても町職員でなくても関係なく使えるように仕組みを見直す。
- ・消費生活について
 - ・特殊電話詐欺について地域住民の中での声かけを行う。
- ・消防・防災について
 - ・津波用の防災タワーや、避難所を造る。
 - ・避難所への経路の整備をすすめる。

地域や自分ですること

- ・土地利用、環境保全、公園について
 - ・スポーツを通して子どもと交流する。
- ・公共交通機関・住宅関係・消費生活について
 - ・要望等の情報を集約し、役場に提出する。
 - ・自治体の名簿を作って、各事業所の登録者を募る。
- ・消防・防災について
 - ・自分の家族や友人とハザードマップを確認する。
 - ・ふだんからの地域住民のつながりを強くする。
 - ・防災について意識を持つ。

【6班】

分野別の課題

- ・空き家、土地について。
- ・環境保全について。
- ・都市計画（鹿と公共施設）について。
- ・情報発信について。

分野別のやるべきこと

- ・空き家、土地について
 - ・避暑地という特性を利用して宿泊地へ変更
 - ・空き家バンクの周知
- ・環境保全について
 - ・カキ殻を利用した水質浄化
 - ・ごみの投棄の厳罰化運動
 - ・カキの新たな養殖方法の検討
 - ・新しい水源地の確保
- ・都市計画（鹿と公共施設）について



分野別のやるべきこと

- ・ジビエとして鹿を特産品にするために工場の整備を進める。
- ・角を利用した商品開発
- ・公園には柵をつけて、鹿の侵入を防ぐ。
- ・町の駅やコミュニティの場、観光案内など町の至るところをスポット的に整備する。
- ・情報発信について
 - ・公共施設、イオンや病院等で厚岸町を発信する。
 - ・映像ビジョン等を利用して、誰でも、いつでも自由に情報を受け取ることができる環境を作る。

地域や自分ですること

- ・ワークショップの公開
- ・ごみの分別
- ・SNS で発信

(3) 第3回【保健・医療・福祉部門】【教育部門】

①概要

内容:第3回ワークショップでは、「第3章 保健・医療・福祉部門～みんな笑顔で健やかに、つながり支え合うまち～」、「第4章 教育部門～未来を切り拓く力を育み、豊かな人間性にあふれるまち～」について、分野別の課題ややるべきこと、地域や自分ですることについて話し合い、発表してもらいました。

日時:令和5年11月11日(土)

人数:32名

班数:6

②各班の発表内容

【1班】

分野別の課題
【保健・医療・福祉部門】 ・ <u>子育て支援について</u> ・保育園からイベント等で別の場所に移動する際に利用できるバスがない。 ・公園のほか、屋内の遊び場が少ない。 ・ <u>地域福祉について</u> ・重層的包括課題専門員の不足 ・介護士、医師、看護師の不足 ・行政サービスの周知不足
【教育部門】 ・ <u>生涯学習について</u> ・講演や講座などの学びの場の少なさ。 ・ <u>学校教育について</u> ・教員の長時間労働 ・廃校舎の活用 ・いじめ問題 ・ <u>文化について</u> ・地域のお祭りの維持

分野別のやるべきこと
【保健・医療・福祉部門】 ・ <u>子育て支援について</u> ・イベント開催時等のバスの手配を民間バス会社へ委託、空きバスの活用 ・遊び場としての廃校になった学校等の活用 ・バスの運転手や遊び場管理等の人材の確保(ボランティア等の活用) ・ <u>地域福祉について</u> ・情報共有

分野別のやるべきこと
【教育部門】 (地域や自分ですることに統合)

地域や自分ですること
【保健・医療・福祉部門】 ・ <u>地域福祉について</u> ・行政と地域、民間、全体で問題を解決していくための情報共有 【教育部門】 ・ <u>生涯学習について</u> ・町内で外国語を指導できる人材の発掘と学びたい人とのマッチング ・廃校プロジェクトの活用 ・市町村の廃校活用事例を参考にした活用方法の検討 ・ <u>文化について</u> ・限られた人数や自治会、予算で開催できるお祭りの形の見直し ・自治会をまたいだ御獅子踊りなどの技術の継承 ・厚岸の文化をよく知る町民の名簿などを作成し、発信していく。

【2班】

分野別の課題
【保健・医療・福祉部門】 ・ <u>医療について</u> ・病院の診療体制の確保 ・健診の義務化 ・ <u>地域福祉について</u> ・人材不足 ・ <u>高齢者福祉について</u> ・外出時の移動手段がない。 ・ <u>障がい者福祉について</u> ・個人で状況が異なるため特性にあわせたサービスの提供が難しい。 ・活動できる場所が少ない。 ・ <u>子育て支援について</u> ・習い事に通える場所が少ない。 ・地域での子育てに関する協力が不足している。 ・遊び場が少ない。 ・ <u>社会保障について</u> ・制度説明が不足している。 【教育部門】 ・ <u>学校教育について</u> ・廃校や旧校舎の利用が進んでいない。

分野別の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・給食等による地産地消の強化 ・英語やスイミングを習えるようにしてほしい。 ・<u>生涯学習について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・施設が分散している。 ・活動しているサークル等への資金の補助 ・<u>文化について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の予約がウェブでできない。 ・<u>スポーツについて</u> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動をやりたくてもできない。 ・温水プールが活用されていない。

分野別のやるべきこと
<p>【保健・医療・福祉部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>医療について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン診療の導入や健診未受診者への対策 ・<u>地域福祉について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・人材確保のための待遇改善 ・<u>高齢者福祉について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に集うことができる場所づくり ・外出時の移動手段の確保 ・<u>子育て支援について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援を行う事業所の誘致 ・<u>社会保障について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・制度のホームページや広報などでの周知 <p>【教育部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>学校教育について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・英語やスイミングの指導者などの人材発掘、ALT の活用 ・<u>生涯学習について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の集約 ・サークルの活動費に関する補助金制度の創設 ・<u>文化について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・施設のウェブ予約の整備 ・<u>スポーツについて</u> <ul style="list-style-type: none"> ・温水プールを活用した授業やイベントの開催

地域や自分ですること
<p>【保健・医療・福祉部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>地域福祉について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・町民同士がコミュニケーションをとりやすい環境づくり

地域や自分ですること
<ul style="list-style-type: none"> ・行政による場の周知 <p>【教育部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知や PR について、行政主体ではなく町民自身が町について知ったり、PR したりする機会を作る。 ・クラウドファンディングを活用するなど廃校利用について検討を進める。

【3班】

分野別の課題
<p>【保健・医療・福祉部門】</p> <p><u>・医療について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホスピタリティの不足 ・町立病院のイメージがよくない。 ・専門医療や高度医療を町外に依存している。 ・医師不足 <p><u>・高齢者福祉について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護人材不足 <p>【教育部門】</p> <p><u>・学校教育について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の歴史や食に関する教育の不足 <p><u>・生涯学習について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習活動の場がなかったり、あまり知られていない。 ・スポーツクラブの減少

分野別のやるべきこと
<p>【保健・医療・福祉部門】</p> <p><u>・医療について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1日でもよいので、各受診科の専門医が診察する体制づくり ・遠隔医療の導入 <p><u>・高齢者福祉について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護人材確保のための賃金アップ ・介護ロボットの導入 <p>【教育部門】</p> <p><u>・生涯学習について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人やボランティアが参入できる環境づくり ・講演会や講座の開催と周知 ・専門家の招聘やスポーツ施設での合宿誘致

地域や自分ですること
<p>【保健・医療・福祉部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民が要望をきちんと声に出して伝えたり、官民で意思疎通を図ること。 <p>【教育部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習について <ul style="list-style-type: none"> ・地域でコーチとなりうる人材を登録する専門家登録制度の創設とその情報共有 ・SNS等での活動の発信

【4班】

分野別の課題
<p>【保健・医療・福祉部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療について <ul style="list-style-type: none"> ・土日に対応できる病院がない。 ・専門科病院がない科目がある。 ・病気の予防について <ul style="list-style-type: none"> ・病気の予防の取組をしても見返りが無い。 ・健康診断を受診すると肥満や生活習慣病が原因で引っ掛かる。 ・健康診断の受診率が低い。 ・高齢者福祉について <ul style="list-style-type: none"> ・特養心和園の建て替え ・地域福祉活動について <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会の事業活動が頼りになっている。 ・子育て支援について <ul style="list-style-type: none"> ・施策が周知されていない。 <p>【教育部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育について <ul style="list-style-type: none"> ・地域教育・道徳教育の必要性が明確になっていない。 ・役割が明確になっていない。 ・学校の統廃合に伴って、通学に時間がかかる児童・生徒がいる。 ・教育に無関心な親がいる。 ・学校内でのいじめ ・町内の高校への進学率が低い。 ・生涯学習について <ul style="list-style-type: none"> ・総合スポーツ施設の新設 ・文化芸術施設の新設 ・スポーツ活動の参加者が減ってきている。 ・文化について <ul style="list-style-type: none"> ・文化遺産に接する機会がない。

分野別のやるべきこと
<p>【保健・医療・福祉部門】</p> <p><u>・医療について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合診療科を新設する。 ・初診の場合、遠隔地からのリモート診断ができる仕組みの構築 <p><u>・病気の予防について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康維持の取組に特典を設ける（健康ポイント制度を構築し、補助金を出す）。 ・大人が継続的に運動する環境を整える。 ・健康診断を受ける。 <p><u>・高齢者福祉について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・心和園の建て替えとともに、施設の統合を検討する。 <p><u>・地域福祉活動について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民が相互に見守っていくこと。 <p><u>・子育て支援について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策を周知する。 <p>【教育部門】</p> <p><u>・学校教育について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他自治体の近隣の地区に通学する。 ・町内の高校の魅力。 ・アンケートを取って現状を把握する。 <p><u>・生涯学習について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSを使用して町内のスポーツ、サークル活動を紹介する。 ・大会、合宿の誘致活動を行う。 <p><u>・文化について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子文化遺産見学会を開催する。

地域や自分ですること
<p>【保健・医療・福祉部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康診断を受ける。 ・寄付金を募る。 <p>【教育部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習、教育に関することのポイント制度を導入する。 ・スポーツをすると健康増進に繋がるため、健康ポイント制度に組み込む。 ・身体測定会に参加する。 ・講演会に参加する。

【5班】

分野別の課題
<p>【保健・医療・福祉部門】</p> <p><u>・医療格差について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・札幌や釧路と比べると、厚岸町で提供される医療サービスの質が低い。 <p><u>・高齢者問題</u></p> <ul style="list-style-type: none">・老人ホームにすぐに入所することができない。・リハビリを受けることができない場面がある。 <p><u>・高齢者の独居、ひとり暮らしについて</u></p> <ul style="list-style-type: none">・老老介護、高齢者夫婦へのサポート体制がない。 <p><u>・子育て関係</u></p> <ul style="list-style-type: none">・乳児、就学前の健診が少ない。・公園等の整備が足りない。 <p>【教育部門】</p> <p><u>・学校教育について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・町内3校の終業時間が異なっている。・コロナ禍以降、職場見学・職場体験の機会が少なくなっている。・宿題、家庭学習の量が多い。 <p><u>・教育文化について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・厚岸町の文化遺産の知名度が低い。・町民が厚岸町の歴史を知らない。 <p><u>・スポーツについて</u></p> <ul style="list-style-type: none">・マラソン大会が開催されていない。・町内外から参加できるような大会等がない。

分野別のやるべきこと
<p>【保健・医療・福祉部門】</p> <p><u>・医療格差について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・高度医療の充実化・設備の充実化・予算の確保、国への補助金申請 <p><u>・高齢者問題</u></p> <ul style="list-style-type: none">・介護施設の充実化、増設 <p><u>・高齢者の独居、ひとり暮らしについて</u></p> <ul style="list-style-type: none">・緊急通報システムや、テレビ電話の活用をすすめる。・高齢者住宅に対しての近況の報告等の確認・民生委員やボランティアが自宅へ様子を見に行く。・近隣住民等の声がけ。・警察等への連絡等の情報共有

分野別のやるべきこと
<p><u>・子育て関係</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児、就学前の健診を増やす。 ・2歳、3歳、4歳等、年齢ごとの健診を行う。 ・湖南地区、湖北地区、各1か所ずつ公園など遊べる場所を作る。 <p>【教育部門】</p> <p><u>・学校教育について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験授業・見学行事等を少しずつコロナ禍前の水準に戻していく。 ・ノー宿題デー、スポーツデーをつくって、子どもたちが運動する時間を確保する。 <p><u>・教育文化について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内での文化遺産巡り <p><u>・スポーツについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベント等で厚岸町に滞在できる時間を増やし、空き時間に観光を促す。 ・ハーフマラソン等の実施を検討する。 ・周辺の町を巻き込んでイベントを企画する。 ・佐藤龍世選手、佐藤綾乃選手などに講義、講座等を開催いただく。

地域や自分ですること
<p>【保健・医療・福祉部門】</p> <p><u>・医療格差について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本医師会に知り合いがいたら声がけをする。 <p><u>・高齢者問題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算の確保、国への補助金申請 ・大きな介護施設に知り合いがいたら声がけをする。 <p><u>・高齢者の独居、ひとり暮らしについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・すれちがったら挨拶をする。 ・生活に不安のある独居高齢者等々を把握して、双方へ情報共有する。 <p><u>・子育て関係</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診を未受診の人が周りにいたら声がけを行う。 ・公園の維持、近所の掃除等を有償対応も視野に入れて検討する。 ・公園を利用したイベントを企画・実施する。 <p>【教育部門】</p> <p><u>・学校教育について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生さんの職場見学等の希望があれば積極的に受け入れる。 <p><u>・教育文化について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化遺産の紹介だけではなく、学習にも取り入れる。 <p><u>・スポーツについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所や幼稚園に町民が出向き、一緒にボール遊び等の運動の補助を手伝う。 ・SNS、Instagramで広報する。

【6班】

分野別の課題
<p>【保健・医療・福祉部門】</p> <p><u>・保健・医療・福祉について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・自治会の高齢化・担い手不足 <p><u>・情報の一本化について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・行政、学校、個人が連携できていないため、同じことを何回も何回もいろんな場面で説明しなければならない。・厚岸方面は塾が少ない。 <p><u>・社会保障制度について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・医療費や介護の負担が増えている。 <p>【教育部門】</p> <p><u>・スポーツについて</u></p> <ul style="list-style-type: none">・厚岸町といえばこれというスポーツがない。 <p><u>・学校について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・学校にエアコンがない。・学校ごとに行事が違う。・情報処理が統一化されていない。 <p><u>・夏祭りについて</u></p> <ul style="list-style-type: none">・夏祭りの継続が危うい。

分野別のやるべきこと
<p>【保健・医療・福祉部門】</p> <p><u>・保健・医療・福祉について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・教育者と福祉の専門職の連携を図る。・若い人材の確保 <p><u>・情報の一本化について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・学校単位や自治会単位でワークショップを実施して意見を吸い上げる。 <p><u>・社会保障制度について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・自治会の運営を統合する。・自治会の活動をした人にキャッシュバックする制度を設ける。・自治会の加入方法を周知する。・地域の通貨制度をつかって自治会イベントへの参加を促す。 <p>【教育部門】</p> <p><u>・スポーツについて</u></p> <ul style="list-style-type: none">・厚岸町といえばこれというスポーツをつくる。・NPO法人をつかって、アスリートを確立していくために指導者を呼ぶ。・家庭に負担をかけず、子どもたちが移動できる送迎の仕組みを作る。

分野別のやるべきこと

・学校について

- ・学校にエアコンがない。
- ・行事を一本化する。
- ・情報処理を統一化する。

・夏祭りについて

- ・運営側が工夫をして参加が増える取組を実施する。

地域や自分ですること

【保健・医療・福祉部門】

・保健・医療・福祉について

- ・自治体をまとめる、減らす。
- ・SNSを活用する(LINEでお知らせなど若者の目にふれやすくする)。

・情報の一本化について

- ・イベントに参加して役場に声を直接届ける。
- ・学習塾やPTAの活動に協力的に参加し、先生方と交流を深める。

・社会保障制度について

- ・町民が自治会へ積極的に参加する。
- ・子ども会の復活
- ・自治会には必ず加入するという雰囲気の醸成

【教育部門】

・スポーツについて

- ・スポーツに特化する。

・学校について

- ・先生と教育委員会などと意見交換をしたり、ワークショップをしたりする。



(4) 第4回【産業経済部門】【政策支援・行財政部門】

①概要

内容:第4回ワークショップでは、「第2章 産業経済部門～多彩な資源が輝き、活力と魅力にあふれるまち～」、「第5章 政策支援・行財政部門～多様なつながりにより、共に生き、共に創り上げる持続可能なまち～」について、分野別の課題ややるべきこと、地域や自分ですることについて話し合い、発表してもらいました。

日時:令和5年12月2日(土)

人数:25名

班数:5

②各班の発表内容

【1班】

分野別の課題
【産業経済部門】 <u>・後継者、事業継続について</u> ・担い手が不足している。 <u>・起業について</u> ・店が少ない。 <u>・観光について</u> ・桜の名所やキャンプ場などの観光資源が少ない。
【政策支援・行財政部門】 <u>・ふるさと納税について</u> ・厚岸町と白糠町は同じ産業に取り組んでいるがふるさと納税に差がある。 <u>・地域コミュニティの弱体化について</u> ・教員の長時間労働 ・廃校舎の活用 ・いじめ問題 <u>・国際交流について</u> ・地域のお祭りの維持

分野別のやるべきこと
【産業経済部門】 <u>・後継者、事業継続について</u> ・町内での後継者づくり。 ・厚岸町の主産業である農業や漁業に情報通信技術 (ICT) などを取り入れ、取組やイメージを持ってもらう。 <u>・起業について</u> ・厚岸翔洋高等学校などで専門的な授業を行い生徒を育て、厚岸町に居住してもらうような取組

分野別のやるべきこと
<ul style="list-style-type: none"> ・UターンやIターンの奨励 ・起業家たちへの経営コンサル <p>【政策支援・行財政部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>ふるさと納税について</u> ・返礼品の工夫 ・厚岸町が町外からどのように見られているのか、厚岸町の強みを町民が知り共有すること。 ・<u>地域コミュニティの弱体化について</u> ・既存の自治会活動の推進 ・若者を中心とした新しいコミュニティづくり

地域や自分ですること
<p>【産業経済部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政と地域、民間、全体で問題を解決していくための情報共有 <p>【政策支援・行財政部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政だけでなく民間も一緒に厚岸町のいいところを考えていく。 ・何か1つでも参加できる活動があれば参加する。

【2班】

分野別の課題
<p>【産業経済部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>後継者、事業継続について</u> ・担い手が不足している。 ・<u>林業について</u> ・伐採はできても植樹ができていない。 ・<u>商工会について</u> ・活用を進めるべき。 ・<u>観光について</u> ・交通や環境の充実、宿泊場所の確保 <p>【政策支援・行財政部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>開かれた町政の推進について</u> ・町ホームページの情報量が多く情報が入手しにくい。 ・<u>コミュニティの育成について</u> ・自治会活動が停滞している。 ・<u>行政運営について</u> ・業務量の増加に伴う人手不足 ・<u>国際交流について</u> ・地域交流の国定公園化について事務局が類似の複数の会議体に出席している実態がある。

分野別の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・移住・定住について ・受け入れ可能な住宅の PR 不足

分野別のやるべきこと
<p>【産業経済部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者、事業継続について <ul style="list-style-type: none"> ・学校での職業説明会や職業体験会の実施 ・林業について <ul style="list-style-type: none"> ・植樹できる機械の開発 ・商工会について <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税に関する取組を強化するべき。 ・観光について <ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクルや宿泊場所の整備 <p>【政策支援・行財政部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開かれた町政の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・町議会のインターネット中継 ・町ホームページの情報の整理・見直し、各種 SNS との連携 ・コミュニティの育成 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会の統合や自治会活動の理解促進 ・行政運営 <ul style="list-style-type: none"> ・手続きのオンライン化 ・庁内の業務分析を図る。 ・国際交流について <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流の国定公園化に関する会議体の見直し ・移住・定住について <ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ可能な住宅の PR に力を入れる。

地域や自分ですること
<p>【産業経済部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金制度を設けることで整備を進めていく。 <p>【政策支援・行財政部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開かれた町政の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット中継が実現した場合は、町民がそれを利用・視聴すること。 ・コミュニティの育成 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動に参加する。

【3班】

分野別の課題	
<p>【産業経済部門】</p> <p>・<u>後継者、事業継続について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・担い手不足 <p>・<u>各産業について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・水産業では漁獲量が減少している。・商工業では地域力が弱まっていることから経済力も弱まっている。 <p>・<u>観光について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・夏祭りの活気がなくなってきている。・通過型の観光が多くなっている。・宿泊施設が少ない。 <p>・<u>雇用について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・企業が少なく、新卒者が町外に流出してしまう。・地元の高校に進学する子どもが減っている。	
<p>【政策支援・行財政部門】</p> <p>・<u>開かれた町政の推進について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・町の情報が発信できていない。 <p>・<u>コミュニティの育成について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・コミュニティが衰退している。	

分野別のやるべきこと	
<p>【産業経済部門】</p> <p>・<u>後継者、事業継続について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・情報通信技術 (ICT) の活用・地域おこし協力隊等の外部人材の活用 <p>・<u>各産業について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・地元の高校で調理師免許を取得し町内で働いたのち、店舗を持つことができるシステムづくり <p>・<u>観光について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・宿泊事業者と連携した観光の取組 (クーポンの発行など)・宿泊事業者の呼び込み <p>・<u>雇用について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・地元企業と町民の交流の機会の創出	
<p>【政策支援・行財政部門】</p> <p>・<u>開かれた町政の推進について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・SNS の活用・町ホームページを町内の情報発信に特化してわかりやすくする。・窓口での手続きのオンライン化	

地域や自分ですること
<p>【産業経済部門】</p> <p>・観光について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りが開催される7月の第1土曜日は町内企業は休業日とし、祭りに参加してもらい活気を持たせる。 <p>【政策支援・行財政部門】</p> <p>・コミュニティの育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代が町内のコミュニティを知るための周知・発信 <p>・移住・定住について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住情報の発信 ・移住体験者への職業体験事業の実施

【4班】

分野別の課題
<p>【産業経済部門】</p> <p>・雇用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労場所が少なく、働き手や後継者が町外に流出してしまう。 <p>【政策支援・行財政部門】</p> <p>・移住・定住について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町が住みにくい。 ・定住・移住者への補助金が少ない。 ・移住するメリットがない。

分野別のやるべきこと
<p>【産業経済部門】</p> <p>・雇用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求人情報の発信や町内企業による合同説明会の実施（カキ祭りなどのイベントと同時開催で行うなど） <p>【政策支援・行財政部門】</p> <p>・移住・定住について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を新聞やチラシ、SNS等で発信する。

地域や自分ですること
<p>【産業経済部門】</p> <p>・雇用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間レベルで横や縦のつながりを強化し、就労関係のイベントの情報発信等を積極的に行う。 ・地域のイベントに積極的に参加する。

地域や自分ですること
【政策支援・行財政部門】 <u>・移住・定住について</u> ・イベントの立ち上げや行政への働きかけ ・SNS など自分でできる範囲での情報発信

【5班】

分野別の課題
<u>・後継者、事業継続について</u> ・後継者不足 ・気候変動による漁場の変化 ・需要と供給の均衡がとれていない。 ・燃料高 ・起業に不向きな環境 <u>・観光について</u> ・イベント会場の駐車場の収容台数が少なく満車になってしまう。 【政策支援・行財政部門】 ・情報の共有不足

分野別のやるべきこと
【産業経済部門】 <u>・後継者、事業継続について</u> ・陸上の養殖施設の建設 ・自家販売を廃止し漁協へ卸すことでホタテ漁業のような安定的な収益や供給の確保 ・新規参入を促進するための組合による設備サポート ・公務員等に対し第一次産業のみ副業を許可する。 ・人材バンクの活用や就労支援センターの整備 ・地元の食材を使った商品開発 <u>・観光について</u> ・イベント会場の分散化、ターゲット層の絞り込みと分散化 【政策支援・行財政部門】 ・情報共有のプラットフォームづくり

地域や自分ですること
【産業経済部門】 ・地元の食物を消費する地産地消の推奨 ・昆布漁の手伝いなどに積極的に参加する ・教育現場での産業体験 【政策支援・行財政部門】

地域や自分ですること
・行政や組合、民間等の人事交流 ・行事などへの積極的な参加、対面によるコミュニケーションの推進

4.まとめ

ワークショップでは、前期行動計画の5つの分野について、分野別の課題ややるべきこと、地域や自分で取り組むことについて、町民に意見を出してもらいました。

厚岸町は、総人口が減少しており、各分野の課題についても、人口減少を背景としたものが多く見られました。

【生活環境・都市基盤部門】について、空き家の増加やその利活用、道路が冠水するなど整備が不十分な状況、町内の情報通信基盤の弱さについての課題が挙げられました。これらの課題について、厚岸町ですでに取組を進めている空き家バンクの周知、財源確保がやるべきこととして挙げられました。ほかにも、遊び場としての公園の未整備（少ない、衛生環境がよくないなど）や、公共交通の利用者数の減少やそれに伴う便数の減少等、その利便性についても課題として挙げられ、公共交通の利用促進や公園の管理人を配置するなどの解決策が提案されました。

【保健・医療・福祉部門】について、町内の医療体制が不十分なため専門的な医療や高度医療が近隣市町に行かないと受診できない、福祉を支える人材の不足、社会保障に関する制度の周知不足についての課題が挙げられました。医療体制の整備についてはオンライン診療の導入、福祉人材の確保については待遇改善や介護ロボットの導入、SNSを活用した制度の周知などの解決策が提案されました。地域や自分ですることについては、町民同士が積極的にコミュニケーションを取れる環境づくり、行政や地域、民間等組織を越えた情報共有などが挙げられました。

【教育部門】について、学校教育において町内の歴史や文化、食文化に触れる機会が少ないことや生涯学習の機会の場の少なさ、スポーツ施設等の活動場所が少ないこと、町外から競技大会等を目的に来町する人が少ないことが課題として挙げられました。また、文化遺産やお祭りなどの地域の文化の継承等についても課題とされています。それぞれの課題に共通した解決策として挙げられたのは、町内で外国語やスポーツを指導できる人材を発掘するなどの人材確保策です。ほかにも、文化の継承については町の歴史や文化に詳しい町民の情報共有、競技大会等については、競技大会の誘致や町内の活動のSNS等を活用した広報などが挙げられました。

【産業経済部門】について、漁業を中心とした第1次産業も漁獲量が減少傾向である中、町外に若者が流出してしまい、産業の担い手が不足している状況が課題として挙げられました。また、観光については宿泊施設が少ないことなどから、通過型の観光が多く、観光による町の収入が少ないこと、桜の名所等の観光資源が少ないことが課題として挙げられています。産業の担い手を確保するための解決策として、農業や漁業等への積極的な情報通信技術（ICT）の活用（担い手の負担軽減）、職業体験会や説明会の実施、地域おこし協力隊等の町外の人材の活用が挙げられました。また、観光について、レンタサイクルや宿泊場所の整備、宿泊事業者との連携による地域クーポンの発行などが解決策として挙げられました。

【政策支援・行財政部門】について、町ホームページは情報量が多く適切な情報が入手できない、自治会活動などの地域コミュニティの弱体化、移住促進のための PR 不足などが課題として挙げられています。町ホームページについては、SNSとの連携による情報の整理や行政手続のオンライン化、自治会活動への積極的な参加、町の情報などのSNSでの発信が解決策として挙げられました。

5つの分野で共通している解決策として、町内の人材の活用や町外への積極的な情報発信などが挙げられており、今後それらの案を具体化するためには、行政や民間、町民と連携し取組を進めていくことが重要です。また、分野を越えて相互に関連する解決策も含まれていることから、担当課を越えた検討も進めていくことが求められます。

5. 後期行動計画の策定にあたって

今後のまちづくりを検討していく上では、人やモノ、カネ、情報などの限られた資源をどのように活用し、よりよいまちづくりを進めていくかが重要ですが、今回のワークショップを踏まえて、検討のポイントを主に以下の3つに整理しました。

①産業分野における情報通信技術の推進

町の主産業である酪農業や漁業において、収穫量・漁獲量の減少や人手不足が深刻化している現状があります。近年では、ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用した品質の均一化や人手不足解消に向けた取組（スマート農業、スマート漁業）が進められています。

厚岸町では、水産科をもつ北海道厚岸翔洋高等学校は「地域の未来を創るマリン・イノベーターの育成～IT 導入による持続可能な地域社会の創造～」(文部科学省マイスター・ハイスクール事業)として、カキやアサリなどの養殖漁業のスマート化を推進する取組を進めています。こういった取組を活用しながら、町全体で課題解決に向けた歩みを進めていくことが重要です。

②高齢化に伴う医療体制の整備・社会保障制度の周知

町全体で高齢化が進行する中、福祉の担い手は減少しており、より一層の地域包括ケアシステムの推進が求められています。システムの推進のためには医療や介護サービスを十分に受けられる体制が必要となるため、遠隔でも診療を受けられるオンライン診療の導入や公共交通機関の維持による移動手段の確保が必要となります。

また、本人やその家族が適切な医療や介護サービスが受けられるような制度の周知徹底が求められます。近年では、スマートフォン普及率も上昇しているため、「広報あつけし」や町ホームページでの周知のほか、SNSを活用するなど、情報の内容や重要度、更新頻度等による媒体の使い分けの検討も重要です。

③町内外の交流の場の創出・コミュニケーションの活発化

子育てや教育、文化継承等において、サポートしたり指導したりする立場の人材が不足している状況です。また、自治会等のコミュニティも弱体化しており、隣近所との付き合いが希薄化しているものと思われます。町民同士が困ったときや災害時に互いに助け合うことができるよう、ふだんから顔の見える関係性を築くことが必要です。地域のイベント等の活用や町外への情報発信等を積極的に行ったり、行政や民間、地域住民が垣根を越えて参加できる場の創出が求められます。

資料



分野別の課題

分野別のやるべきこと

地域や自分ですること

(1) 使っていない土地の把握と有効活用

(1) 空き家空き地が増えている

(1) 外国人に土地を買われているという噂を聞いている

(1) 浚渫土砂捨場の整備

(1) 土地の有効活用
役場が所有している公有地の有効活用

(2) 定期的な水質の確認
↓
下水など家庭でも出来る事の伝達

(2) 大規模な太陽光発電施設は環境に悪影響を与えないのか？

(2) エネルギーの有効活用について
太陽光発電についての疑問点がある
森林保護との関係で規制が必要ではないか？

(3) 太陽光だけではなく風力、潮力など安価で利用できる自然エネルギーはないか？

(3) 太陽光など空地を使い有効利用

(1) 空家になっている土地施設の跡地の有効的な活用
↓
高齢者の集合住宅、子供用の施設 etc.

(4) 災害時に供給できる防災用貯水槽

(4) 水道について
上水道の整備必要。老朽化した水道管の定期的メンテナンス

(5) 各家庭の下水の見直し
水洗への行政からの援助

(5) 下水道について
下水道設置可能地区においての水洗トイレ設置率のアップ。町の補助を増やす。

(1) 土地利用について
厚岸町にある土地で無料提供することでホテル、住宅等の誘致をする

(4) 定期的な検査の確立
・業者との行政の関わり

(6) 道路・公共交通について
高齢者の足確保。タクシーの利用できる時間の問題。

(6) 道路公共交通
JRの路線維持

(6) タクシーの夜間復活

(7) 高台や太田地区に集合住宅を!!

(6) 道路公共交通
JRの路線維持

(6) タクシーの夜間復活

(7) 住宅について
子育て世代に土地無料提供して住宅を建てるように促進する

(7) 業者による定期的な検査
空家などの対策

(6) 計画的な期間による業者との連携

(8) 町の木(エゾヤマザクラ)の桜再生

(7) 業者による定期的な検査
空家などの対策

(8) 近代的な遊び場公園をつくる
鹿のフンなどの清掃の徹底

(9) 高齢者の運転について
近所での子供だけの留守番の見守り

(9) 地域の見守り強化
(自治会の活性化)

(8) 大規模公園の整備

(10) 賃金の見直し
魅力的な商業施設
個人店の増加

(8) 子どもが遊べる公園が少ない

(12) 廃棄物の有効活用
(堆肥化など)

(11) 消防・防災について
町立病院の救急体制確保
継続する

(11) いろいろな場合の体制の確立

(12) 町民への注意喚起とペナルティの条件

(13) 防災無線の必要、不必要回数の確認
各家庭の情報機器の確認

(13) 情報ネットワークについて
各自治会会館にWi-Fi 設備の設置

(13) 情報ネットワーク
インフラの老朽化

(13) 高齢者へのスマホ教室

(1) 土地の有効活用
ホテルの誘致
↓
土地の無償提供による

活用されていない(未使用の土地)の把握と検討

(2) 大規模な開発・施設整備に対する規制

土砂捨場の確保
(用地購入など)

新しい水源の確保

水道管の定期的な交換

定期的な検査

排水する際のマナーの周知
(5)

(5) 水洗化補助金の増額

(6) タクシー運転手確保補助金の検討

空き家(利用できるものと利用できないものの選別)
(7)

(6) 道路のかさ上げ

(6) JRバスを活用するイベントの検討

(7) 空いている土地の選定
町による買い上げなど

(8) 町民のニーズ把握

(9) 自治会の加入率を上げる

(10) 商業施設誘致
個人商店に対する補助

(11) 救急車の適正利用の周知
利用料を取る

(12) 監視カメラをつける
ペナルティをつける
注意喚起

(13) スマホ教室の開催

(13) 公共施設のWi-Fi 整備

(13) 防災無線の回数の見直し
IPの利活用の検討

(1) 自治会から空地・空き家の情報提供を募る

(1) 相続などの際に困っている事を言ってもらおう

(2) 地域の活動に積極的に参加する

(9) 地域で見守りの活動を行う



分野別の課題

分野別のやるべきこと

地域や自分ですること

都市計画

川や港湾の整備 台風などの高潮の 被害に備える為	空地・空家 の利活用	まちづくり計画が 施行される頃には 当初の目的に沿っ ていないケースが 散見される
・公園の整備 (遊具が 減っている)	子どもが 集まれる大きな 遊具のある公園	室内で遊べる 施設があると いい

消費生活

町内での 消費が少ない 気がする	飲食店やチェーン 店を増やす。
------------------------	--------------------

道路・公共交通

道路 冠水しがち	歩道の整備	夜の タクシーを増やす	ニーズに あった 交通手段がない	観光施策 2次交通 飲食店
-------------	-------	----------------	------------------------	---------------------

通信

5G以上の 回線が 繋がらない

エネルギー・防災

再生可能エネルギー の導入が少ない	役場に蓄電機能を 設置する(ソーラー 発電機)
----------------------	-------------------------------

まちづくり計画を する際にできること(理想) コスト面 かできないことを (現実) 住民と話し合いしっかりと 計画を立てる。	空き家バンクの さらなる推進	空地・空家の 把握と 情報共有
・点在していて あまり利用されていない 公園を減らし、 利用しやすい所に 大きめの公園を作る 真竜・本町側に!!	空地をどのように 利用できるのかを 早くリサーチする	

町の中小企業振興基本条例に 厚岸町民はできる限り町内の 業者を使う努力を謳っている これをもっと周知・指導する 努力をすべき 仕組みを作る	町内で消費の 受皿である店舗を 立地させる。	需要をリサーチし、 飲食店を誘致する	雇用を増やすように 産業を活性化 させる
--------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------	-----------------------	----------------------------

道路が冠水しない 港湾、住居前の 堤防のあり方を 考え設置する	既存の交通手段の 使い方を 知る。教える	せっかくできている 制度・仕組みが 使われていない 使われる工夫
------------------------------------------	----------------------------	-------------------------------------------

通信網の 必要性を 訴える(要望)	公園(人の集まる所) にフリーWi-Fi を!!	避難場所 には整備を
-------------------------	--------------------------------	---------------

再生可能エネルギーを 活用した 防災面への備え (太陽光発電、発電機)

空き家バンクの 周知等 活用されやすい 環境作り	居住・定住・移住 がしやすい 環境作り	冠水しない堤防や 港湾の 整備の為に寄付、 税を集める。
-----------------------------------	---------------------------	---------------------------------------

夜のタクシーを走 らせる為に 利用者は割高の 料金を負担する。	町内で 買い物をするよう 心がける	需要を増やすために 雇用を確保できるような 産業構造 (農業・酪農 漁業の6次産業 地域内機関) などを地域で考え 実施する。
------------------------------------------	-------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------

制度・仕組み を教える (地域レベルで)	近隣の高齢者と 関わりを持つ(教 える立場になる) ために自治会など に積極的に 参加する
----------------------------	--------------------------------------------------------------

避難場所へ フリーWi-Fiを 整備する

公共施設への 再生可能エネルギー 設備・発電機の導入 町民・事業者への 補助制度の創設



分野別の課題

分野別のやるべきこと

地域や自分ですること

住宅

(7)住宅に限らず
取り壊しなど
なかなか厳しい
現状だと思います

・住宅環境の整備
・空家 倒壊した
ものなど増加し
ている

道路

道路環境の整備
・町内の道路が
ガタガタだったり、
雨が降った後に
水たまりが出来て
いる

人員が年々減少して
除雪作業が大変に
なっている。

公共交通

夜
タクシーない

鉄道の活用
・天候に影響
・利用者減少
・優位性の低下

バスの活用
・利用者少ない
・便数が少ない

水道・下水道

水道環境の整備
・春先になると
水の環境が悪化
して塩素の強い
水になっている

雨が降ったら
地面から油が
染み出てくる

(5)
港町地区の
冠水の問題

消費生活

子供服・靴
買えない

飲食店が減って
きている

情報ネットワーク

町内にインフラ
として光ネットワ
ークがあるのに
利用されていない

防災

防災(津波)
避難場所の
再調査

公園

公園の整備

取り壊す

処分費用を
用意する

整備費用
を用意する

情報ネットワー
クを活用する

アプリの開発
→情報の共有

ふるさと
納税で
稼ぐ!

天皇后
両陛下
を呼ぶ

既存の
インフラを
利用する

河野
デジタル
大臣を呼ぶ



分野別の課題

分野別のやるべきこと

地域や自分ですること

(1) 土地利用・(2) 環境保全・(8) 公園

少子高齢化に伴い空き地が増えてきている

空家対策
・役場駐車場の太陽光パネル
・ロードバイク、マラソン環境、側道が少ない歩道の整備

(1)(8) 土地
空地・公園の整備

(8) 小さい子が遊びやすい公園が少ない(整備されていない)

(8) 都市計画・公園・緑地
公園の整備

(1)(2) 土地が広い ↓ エネルギー ↓ 太陽光は? 全世帯オール電化(太陽光)
公園の整備

(1)(2) 空いている土地を有効活用し、太陽光パネルを整備する。整備に対して補助金等を出す

せめて子どもが多く住んでいる地域の公園を整備する

古い空き家をリフォームして貸し出す

(6) 公園の環境整備 鹿と蚊の対策

(8) 公園を整備して(8) 管理人を配置 町民の協力を得て見守り当番

(8) 子供達が遊びやすい公園
・町民の人達が交流できるような公園

(1)(8) 現役を引退し、まだ働きたい人が働ける環境づくりをする(公園の管理人など一短時間勤務) ボランティア活動のほかに、有償で働ける環境整備をする

(8) 児童館や保育所へ通う子供達とのスポーツ交流

(6) 公共交通

(6) 公共交通
・JR
・バス

(6) 道路・公共交通
夜間のタクシーがない

バスの本数が少なく最終便も早い

(7) JR、バス、タクシーの増加

(6) まだ働ける人材を確保 バス、タクシーの運行本数、時間を増やす

公共交通機関を増やす

バスやJR等の利用や利用促進を行い、本数の増加をしやすい状況にしていく。

自治体の活動に積極的に参加する。参加してもらえるよう働きかける

(6)(8) 自治会で名簿を作って各事業の登録者を募る

他の市町村ビジネスモデルの紹介

地元の住民の要望等の情報を集める

(7) 住宅

住宅
アパート、借家の充実化
・職員住宅が空いている(病院の先生・学校の先生)

(10) 消費生活

高齢住宅が増えてきている ↓ 町内への特殊詐欺電話が増えてきている詐欺に引っかからないか不安

(10) 飲食店が少ない

(7) 組織の平準化(縦割なし) ↓ 空家はどこでも誰でも利用可能

(7) 町職員、学校教員用の住宅を一般に開放

(10) 振込窓口である
・銀行
・郵便局
・コンビニ等での声かけ

(11) 消防・防災

堤防がなく津波の不安がある

(11) 消防救急車の適正利用について

避難場所になっているあつけし保育所 au が圏外のため不安

(11) 堤防を作る。津波の避難所、防災センターの増設

堤防津波タワーや避難路の整備

(11) 救急車の適正利用 当事者が高齢でケアマネジャー等いれば代替手段の提案 (例) 介護機器の導入 ヘルパー等

(11) 防災 自分達の住んでいる場所をハザードマップで確認 家族で避難場所を話し合う

(11) 災害時に近所の人と助け合えるように日頃から交流をする

(9) 隣近所の方と日頃から交流しておく

(10) 特殊詐欺予防声かけ
・コンビニ、銀行等で不安そうにしている高齢者へ

(10) 朝のあいさつ声かけ 地域に関わる気持ち

自分も被災する可能性があるという防災意識をもつ



分野別の課題

分野別のやるべきこと

地域や自分ですること

空家・土地について

(1) 土地利用について どう考えるか	空家・空地の 利用	(1) 空き家の 増加	(7) 古い住宅 の増えている？
------------------------	--------------	----------------	---------------------

宿泊地 への 変更	空き家バンク 周知
-----------------	--------------

意識
・ワークショップ
の公開

課題の
共有
興味を持って
もらう

環境保全について

(2) 環境について	カキ殻を 利用した水質浄化	ゴミの投棄 の厳罰化	(2) 赤潮などの
------------	------------------	---------------	-----------

カキ殻の
有効活用
リサイクル

ゴミの投棄
を強化する

陸上の
養殖
の検討

ゴミの
分別

SNSの発信
↓
関係者が
同じ発信

厚岸町の
課題
ユーチューブ
チャンネル

水について

(4) 水道使用 世帯の減少	上下水道料金 が高すぎる	(4) 水道	春先の 水道 におい
-------------------	-----------------	--------	------------------

フン尿
対策
をする

水質の
改善

標茶
から
水をもらう

シカについて

(12) (8) シカの被害	町中にシカがいて 公園や広場にふん がたくさん落ちて いる 衛生面やにおいの 問題
-------------------	----------------------------------------------------------

シビエ
でシカを
減らす

工場の
整備

角を
活用
した商売

公園に
柵

公共施設について

コンパクト シティの実現	町の施設の集中化	“まちの駅”の 整備
屋内外で 年中使える公園 の整備	(8) 都市計画 公園・緑地	・子供達が思いきり 遊べる公園がない ・公園にゲームを持 って行って遊んで いる現状

町施設
の集中

まちの駅
整備

・買い物支援
・コミュニティの場
・観光案内

情報発信

情報通信基盤 の地域整備	IP告知 端末 の充実	リモートワークが 可能な地域 の整備	(13) 情報ネット
-----------------	-------------------	--------------------------	------------

映像
まちの
イベント
情報
パネル



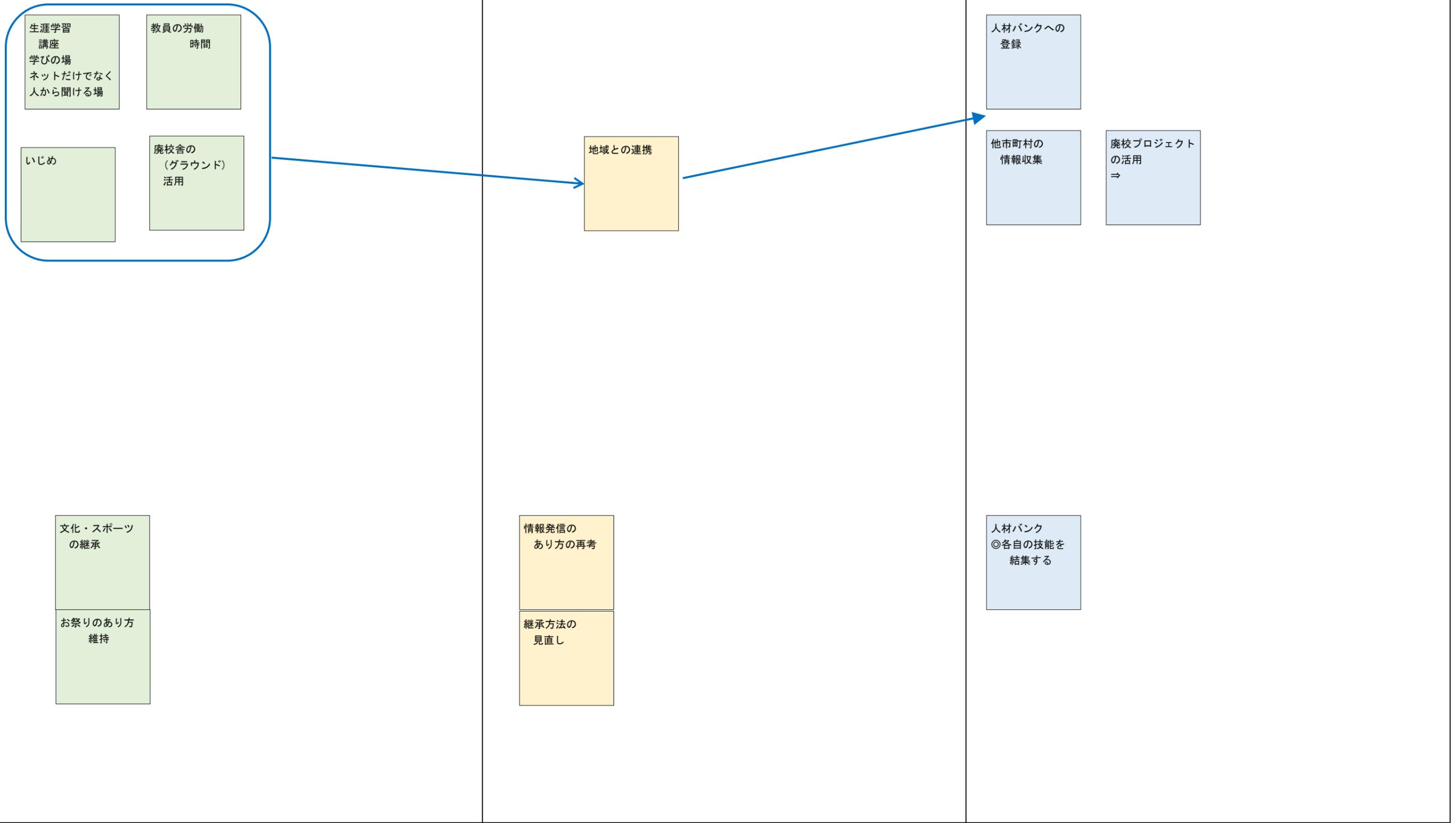
分野別の課題	分野別のやるべきこと	地域や自分ですること
<div data-bbox="210 317 382 491"> <p>子育て支援 バス利用 (イベント時)</p> </div> <div data-bbox="210 560 382 735"> <p>子どものあそび場 屋内</p> </div> <div data-bbox="210 1031 382 1205"> <p>重層的 包括的課題 の専門員</p> </div> <div data-bbox="210 1274 382 1449"> <p>人材不足 介護 医師 看護 休日</p> </div> <div data-bbox="210 1493 382 1667"> <p>福祉関係の 講演会の開催 情報発信</p> </div>	<div data-bbox="1095 317 1267 491"> <p>・民間バスに 委託 ・空きバスの活用 ・町で用意する</p> </div> <div data-bbox="1095 537 1267 711"> <p>・行きたい時に 行ける遊び場 ・親子で ・屋内で(冬季)</p> </div> <div data-bbox="1267 537 1439 711"> <p>⇒ネイパル厚岸 のイメージ</p> </div> <div data-bbox="1439 537 1611 711"> <p>空き教室の活用 は? ※防犯対策要</p> </div> <div data-bbox="1175 1274 1347 1449"> <p>機関連携</p> </div>	<div data-bbox="2009 317 2181 491"> <p>・運転手 ボランティア (人材バンク)</p> </div> <div data-bbox="2009 527 2181 701"> <p>・スポンサーの募集</p> </div> <div data-bbox="2267 527 2439 701"> <p>管理人ボランティア (見守り)</p> </div> <div data-bbox="2415 579 2588 753"> <p>期間を決めて</p> </div> <div data-bbox="2056 1274 2228 1449"> <p>情報共有 (地域・行政・民間) 定期的に</p> </div>

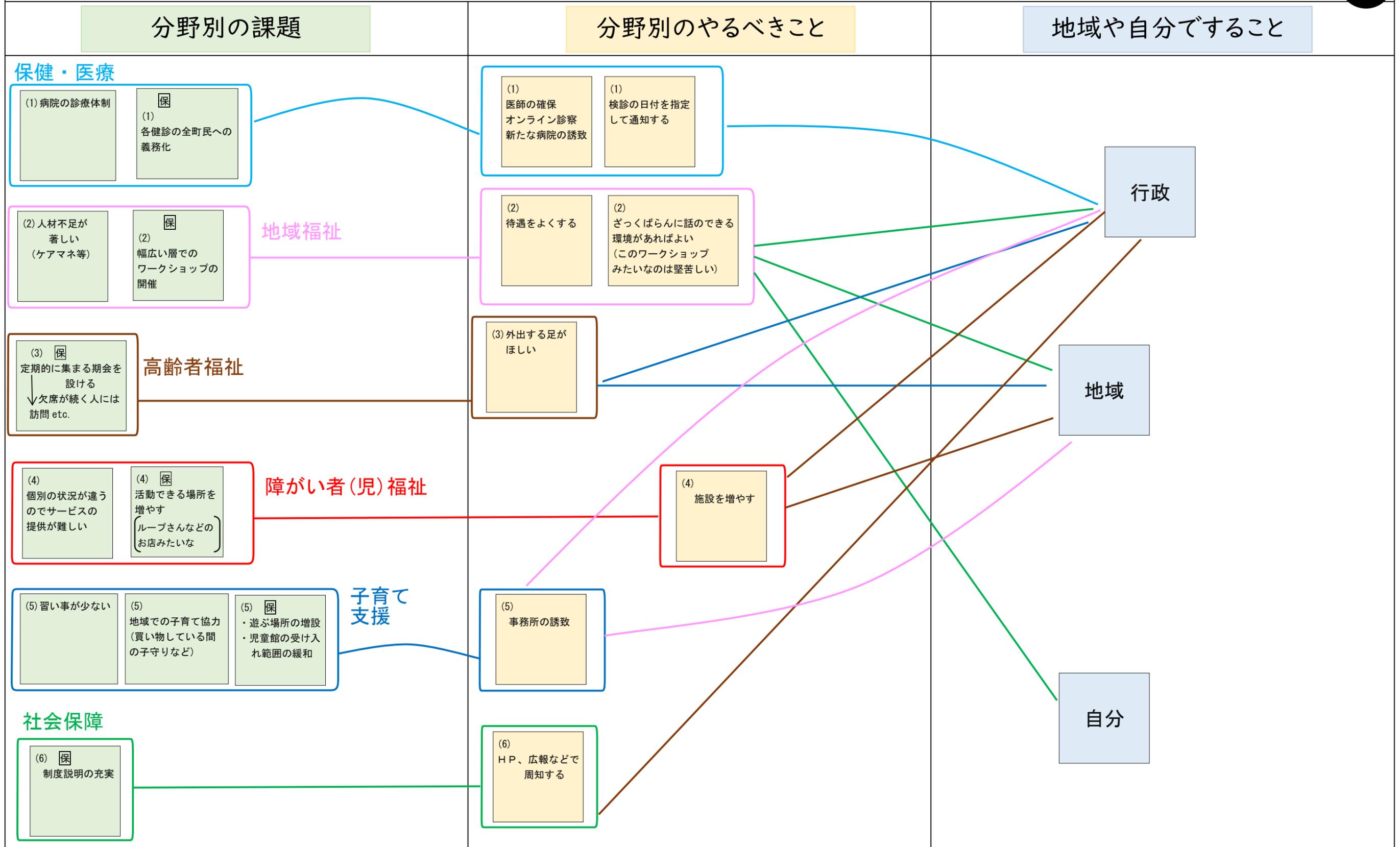


分野別の課題

分野別のやるべきこと

地域や自分ですること







分野別の課題

分野別のやるべきこと

地域や自分ですること

(1) 学校教育
廃校・休校舎の
利用がされていない

(1) 地産地消の
更なる強化
給食

教(1)
英語 プールを
習えるようにして
もらいたい

学校教育

(2) 生涯学習
施設が分散され
すぎている

(2) (3)
サークルなどに
補助金

生涯学習

(3) 文化
(4) スポーツ
施設の予約が
web でできない

文化

(4)
競技人口に対する
施設数(整備され
ている)が足りて
いない

スポーツ

(4) 部活動
(やりたくても
やれない…)

(4) 施設が分散
されている
運動器具など
一括して充実した
方がよいのでは

教
(4)
プールの活用

(1)
利用に向けたPR
誘致

(1) 地元食材の
利用について
PRを

(1)
教えられる人材の
発掘
ALTの活用

(2)
施設の集約をはかる

(2) 新たな
補助金(制度)の創設

(3)
web 予約環境の
整備

(4)
プールでの授業を
増やす

(4)
あらゆるスポーツ
に対応できる施設
をつくる

行政

地域

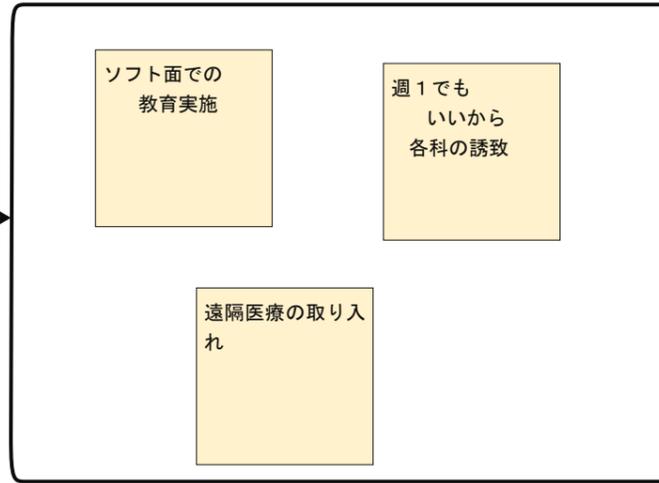
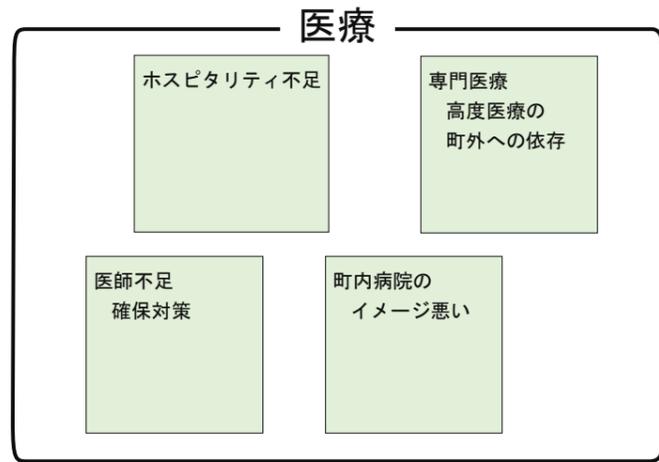
自分



分野別の課題

分野別のやるべきこと

地域や自分ですること



国・道への要望

補助金の創設
交付

医療の学ぶ場
実態を学ぶ場
を作る

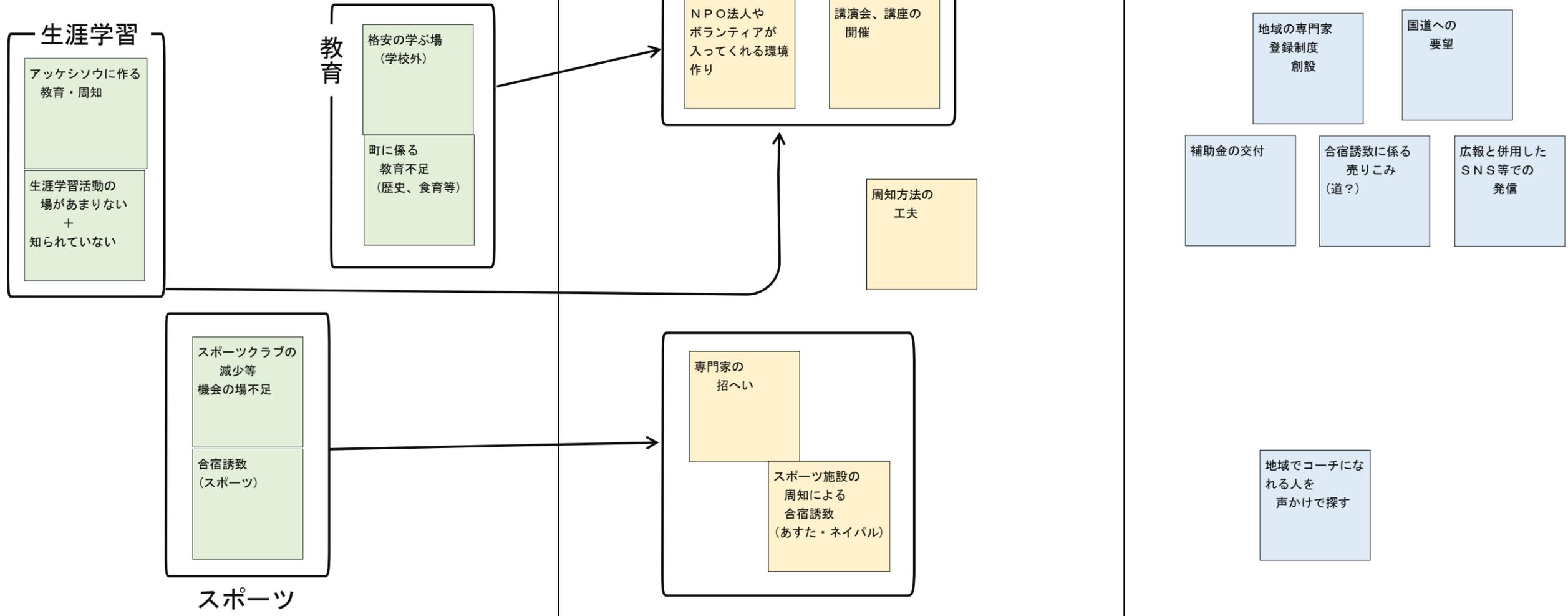
声を上げる



分野別の課題

分野別のやるべきこと

地域や自分ですること





分野別の課題

分野別のやるべきこと

地域や自分ですること

土日にケガをしたら
(そんなに重傷でもないのに) 釧路までヘリコプターで運ばれて大事件になってしまった
(医療)

耳鼻咽喉科がない

初診を遠隔地からのリモート診断にて実施できる環境?

総合診療科の新設

寄付金を募る

検診率の向上
(国保の円滑な運営)

健康診断を行うとほとんどの人がひっかかる
↓
原因がだいたい肥満に起因する
(保健・医療)

病気予防の取り組みにもバックがない
(見返り)

健診を受けることにより、病気を未然に防いだり、国保の経費軽減の周知

大人が継続的に運動する環境を整える
(肥満解消のため)

病気予防健康維持の取り組みに特典を!!

健診を受ける

健康ポイント制度の導入

高齢者福祉特養(心和園)の建て替え

心和園の建て替えとともに施設の統合の検討

地域福祉活動は社協が頼りとなっているのではないか

地域・人を見守る

・子育て支援制度の周知
(色んな施策を行っているが、知らない人が多い)

白糠にも負けない子育て施策をやっていると思うが、まだまだ周知が足りない

補助金を出す



分野別の課題

地域課題教育の
必要性
(役割の明確化)

道徳教育の
必要性
(役割の明確化)

町内高校進学
の向上

通学時間が
長くなる
児童・生徒が
いる

子供への教育に
対して親が必要
性を感ず行わ
ない
(どうせ将来漁師
なんだから勉強
なんてしなくて
いい)

・学校でのいじ
め
・教師のこたば
の体罰

・総合スポーツ
施設の新設
・芸術文化施設
の新設
(芸術ホール)

毎週火曜日に体
育館でサッカー
の練習があるが
毎年どんどん
参加者が減って
きて当日中止が
多くなってき
た(スポーツ)

文化遺産に
接する機会が
少ない

分野別のやるべきこと

町内高校魅力
の向上

近隣の他自治
体地区への通
学

いじめと言葉
体罰はアンケ
ートするなど
の対応をする

優先順位と
誰がどこまで
可能かの議論
が必要

SNSを利用し
た町内のスポ
ーツのサークル
活動紹介(新規
メンバー募集
のため)

・大会や合宿
の誘致活動
(しかし、宿
泊施設が)

親子文化遺産
見学会の開催

地域や自分ですること

寄付金を募
る

身体測定会
に参加する

講演会に参
加する

補助金を
出す

学習ポイント
制度の導入

健康ポイント
制度の導入



分野別の課題

分野別のやるべきこと

地域や自分ですること

(1)-1
医療格差
高 中 低
札幌 釧路 厚岸
など

(1)-1
(1)
・高度医療の充実
・機材の整備

(1)-1
町立厚岸病院に
整形外科、脳外科
の常勤医を用意する

(1)-1 (2)-1
予算確保
国への補助金申請

(2)-1
自宅で生活できない
方が入所する施設が
足りない
施設の順番待ち
が多い

(3)
リハビリをやりた
くても受け入れ人
数の関係で出来な
い人が多い

(2)-1
介護施設
の充実

(2)-1
独居できない
高齢者、障がい者
の入所できる施設
を作る

(3)-1
・高齢者見守り
・一人暮らし
・認知症

(3) 老々介護世帯
が多い

(3)
独居、高齢者世帯の見守り
普段の生活面で不自由な事
等、サポートできるシステ
ムは作れないか？
緊急通報システム、テレビ
電話の活用

(3)-1
近況報告が出来る
話し相手を、
ボランティア等を
活用して確保する

(3)
近隣住民との
声かけ

(3)-1
警察との連携
(情報共有)

(3)-1
・朝のあいさつ
・すれ違い時の
声かけ

(3)-1
生活に不安のある
独居高齢者を
把握した際の双方
の情報交換

(4)-1
乳児・就学前
健診を
増やす
(1才半・3才・就学前
現在は1)

(4)-1
3才児健診の次が
就学前健診。
この間に心配が
発見されるケースもある
年令ごとの健診

(4)-1
・未受診の子が
いたら声かけする
(保健所、幼稚園
の職員が)

(5)-1
子育て世帯に対し、
医療費等の金銭面の
サポートはあるが、
遊ぶ場所や気軽に立ち
寄れる場所が少ない

(5)
公園が少ない気が
します
(場所はあっても
遊具がないなど)

(5)-2
公園施設の
整備

(5)-3
子育て支援
共働、子供風邪の
時のフォロー

(5)-2
公園を作る

(5)
・湖南地区
湖北地区
各1ヶ所ずつ
大きな公園設備
(遊具主体)

(5) 遊具の設置は
難しくても、草刈
り等の手入れをし
て、ボール遊び等
が安心してできる
環境を作る

(5)
公園の清掃や管理
人の配置をし遊具
等を充実させる
場所を分散させず
なるべく集中する
ように

(5)-2
公園維持を近所の方
たちが有償で行う
生きがいと生活費
補助に

(5)-2
公園を利用した
イベントの開催

(5)-2
公園周辺の道路
環境の整備
(横断歩道、信号
設置など)



分野別の課題

分野別のやるべきこと

地域や自分ですること

(1)-1
学校が3校あるが
同じ町内なのに終
業時間が違うのは
何故？

(1)-2
コロナ後の
職場見学
体験の機会
の減少？

(1)-2
コロナ前の
見学行事、体験事
業に戻す

(1)-2
宿題、家庭学習の量が多い
ノー宿題デー スポーツデー
を作って、子供達が運動する
時間を確保できないか
活動場所を分けてバスで送迎

(1)
設備が整った
完成したら利用す
る

(1)
学生の職場見学の
希望があれば積極
的に受け入れる

(1)-2
職場見学(警察署交
番)の要請を
積極的に受け入れる

(1)
学校の体育の授業
等に参加する

教育
(3)-1
文化遺産の
知名度が低い

(3)文化
厚岸の歴史を
居住者みんなが
知って

(3)-1
厚岸 10 景の
布教

(3)
文化遺産
見学ツアーをやる
(バスツアー)

(3)
授業で
文化遺産巡り

(3)
・プラネタリウム
で歴史学習
・スタンプラリー
で賞品

(3)
文化遺産の
紹介を積極的に
する

(4)-1
スポーツジムのな
器具・場所を
設置(増やす)

(4)-1
スポーツジム
の整備・充実

(4)
スポーツジム常設
(標茶・浜中町は土
日も町民は無料で
使える)

使用しなくなった
施設
集会所や学校を
リノベーション
してスポーツジム
として活用

(4)-1
屋外ゴルフ練習場
町内にゴルフ場あり
ゴルフ人口がある

(1)ネイバルを
広く知らせる
(器具は揃ってい
ますが、空いてい
ます)

(4)-1
B & Gに
大型設備を導入

(4)-1
これから冬季となり
屋外でのランニング
が厳しくなってくる
ネイバルは良質なラン
ニングマシンがある
ので使用を促す

(4)-2 スポーツ
標茶駅伝
ハーフマラソンを
厚岸でも

(4)
町内外から参加出
来る様な大会等が
ない

(4)-2
スポーツイベントで
厚岸滞在時間を増やし
観光も充実させる
ハーフマラソン等

(4)-2 周辺の町等
と合同のイベント
企画
(年ごとに持ち回り
で場所を変える)

(4)-2 町民運動会
の開催
町の特産品を景品に
商品のPR

(4)-2
厚岸町での
スポーツ大会の
開催

(4)-2
佐藤龍生選手
の野球講座
開催

(4)
(4)-2
保育所、幼稚園に
出向し、ボール遊
びや運動の補助を
する

(4)-2
町で健康モデル宣言
国から認定を受け
予算を確保し知名度
向上も図れる。

(4)-2
町外からの
来客を増やすよう
SNSを利用

(4)-2
イベントの周知を
しっかりやる

(4)-3
スポーツが出来る環境が
少ない。体育館、プール、
球場は整備されてはいるが
指導だったり、時間の確保
が難しい

(4)-3
現在運用中のスポーツバス
この本数を増やしてはどうか？
主なもの
野球 16:00~
サッカー 17:00~
陸上・ダンス 19:00~

(4)-3
指導者を雇用
分野別に登録してもらい
曜日や時間で担当して
指導してはどうか？

(4)-3
高校生 社会人
でスポーツ経験の
ある人材を探して
声をかける



分野別の課題	分野別のやるべきこと	地域や自分ですること
<p>(2) 自治会の担い手が不足 (2) 地域福祉 自治体活動の衰退 加入する若者が減っている</p>	<p>(2) まちのえきを設立し地域の福祉ニーズにも答えられる体制作り</p> <p>(2) 地域福祉 ・自治体をまとめる、減らす ・SNSを活用する LINEでお知らせなど ・若者の目にふれやすくする</p> <p>自治会の統合運営</p> <p>自治会活動PR</p> <p>活動に対するキャッシュバック制度</p>	<p>積極的な参加</p> <p>子供が入れる取組</p> <p>自治体職員の強制加入</p> <p>イベント協力</p>
<p>(4) (4) 情報の一元化がなされていない (4) 初めの段階から情報をトータルコーディネートできる人材の育成と情報管理</p>	<p>制度の縦割をなくす 人材育成</p> <p>教育者と福祉専門職の連携</p>	<p>声を上げる!!</p> <p>福祉イベント参加</p>
<p>(5) ・学習塾が少ない ・クラブ活動が少ない (5) 子育て支援 ・子供の遊び場の不足</p>	<p>(5) 子育てを卒業した方による子育て支援の充実サポート体制</p> <p>(5) ・公園の遊具を増やす ・屋内で遊べる場所を作る 古い学校の校舎、体育館を活用する 送迎バスがあると嬉しい</p> <p>学習の場 オンラインでできる環境整備</p> <p>季節問わず屋内外で遊べる施設が必要</p>	<p>PTA活動に積極的参加</p> <p>学校でワークショップ開催</p> <p>教育と福祉イベント</p> <p>ワークショップを小さい単位(自治会)</p>
<p>(6) (6) 社会保障費(医療、介護)が負担増</p>	<p>医療費と介護費の情報発信</p> <p>健康の意識を強化する 施策検討</p> <p>(1) 健康でいることで地域通貨を発行しポイント付与</p>	<p>地域通貨、割引、税</p>



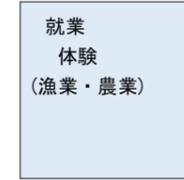
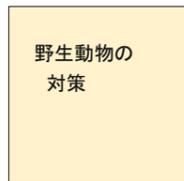
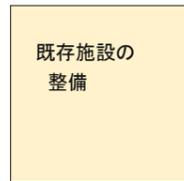
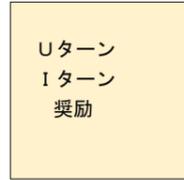
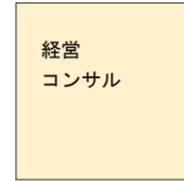
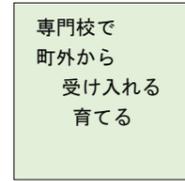
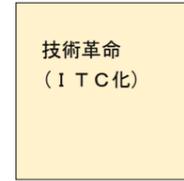
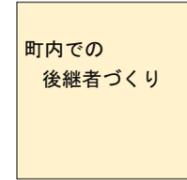
分野別の課題	分野別のやるべきこと	地域や自分ですること
<p>(1)</p> <p>コロナ禍で縮小した行事等を戻す</p> <p>(1) 学校教育 ・町内の学校で授業内容が異なる プールや柔道など ・学校同士での連携は取れているのか？ 始業時間の違い</p> <p>エアコン設置</p>	<p>(1) 学校教育 ・プールや柔道が必要なのであればどちらの学校でも取り入れる 道具の支援 ・学校同士で情報共有 ・せめて冬時間にしてほしい</p> <p>学校教育の情報管理や危機管理の統一がなされていないので令塔の明確にする。</p> <p>教員、親の負担減ではなく子供中心で考える</p>	<p>先生と教育委員会と意見交換ワークショップ</p>
<p>(3)</p> <p>周知不足</p> <p>(3) 文化 芸術文化を学校教育に取り入れる 町の施設との連携 ・ネイパル・海事記念館</p> <p>夏祭り継承</p>	<p>(3) 文化 ・学校で子供達に体験させる ・ネイパル 海事記念館をもっと活用させる</p> <p>夏祭りを観光資源にして人・お金投資</p>	<p>練習実施回数</p> <p>子供達あきさせない取組</p> <p>観客投票 盛り上げ 賞</p> <p>出店の活用 (アンケート)</p>
<p>(4)</p> <p>(4) 柱となる競技が何ひとつない。育てる気がない</p> <p>子供が少なくなってスポーツチームができなくなる (団体競技)</p> <p>小・中・高と続けていけない部活</p>	<p>(4) NPO法人を立ち上げアスリートクラブ設立してコーチを登録制にして各スポーツのサポートを行う。</p> <p>柱となるスポーツ指導者を誘致</p> <p>学校と外部指導の協力</p> <p>(4) 運動はさせたいが、日々の送迎や試合など親の出番が多いので、バスの利用 (遠くへ) 普段の宿題が多くて時間がない</p>	<p>買物循環バスの利用</p> <p>柱となる競技を指定</p>
<p>外部指導者に移行が不安</p> <p>(4) スポーツ部活動などのやりにくさ 親の負担が大きい スケート教室</p> <p>スポーツ施設全般の維持管理不足</p> <p>子供達の部活 ばなれ 親の負担</p>	<p>学校教育と柱となる競技を連携</p> <p>お金の管理を委託できる業者に</p> <p>小中高の連携した指導</p>	<p>・スケート ・スポーツに特化</p> <p>連絡手段の確保 告知端末</p>



分野別の課題

分野別のやるべきこと

地域や自分ですること



分野別の課題	分野別のやるべきこと	地域や自分ですること
<div data-bbox="210 331 388 510">ふるさと 納税の 推進</div> <div data-bbox="560 415 739 594">食と自然の アピール</div> <div data-bbox="201 583 400 762">地域コミュニティー の弱体化</div> <div data-bbox="210 1077 388 1255">コロナ禍の 町外交流</div> <div data-bbox="471 1077 652 1255">国際 交流</div> <div data-bbox="270 1444 448 1623">移住体験 を知らない</div>	<div data-bbox="1151 342 1329 520">厚岸町の 強みを 知る</div> <div data-bbox="1406 447 1584 625">返礼品 に工夫</div> <div data-bbox="1225 688 1403 867">自治会活動の 推進</div> <div data-bbox="1457 688 1635 867">新しい コミュニティー づくり</div> <div data-bbox="1151 1182 1329 1360">外国人 労働者との 交流</div> <div data-bbox="1377 1182 1555 1360">コーディネーター の配置</div> <div data-bbox="1629 1182 1807 1360">国際結婚 誘発 奨励</div> <div data-bbox="1377 1455 1555 1633">通訳・講師</div>	<div data-bbox="2062 331 2240 510">一緒に 考える</div> <div data-bbox="2021 678 2199 856">自治会活動 に1つでも出る</div>

分野別の課題	分野別のやるべきこと	地域や自分ですること
<p>(1) 水産業 漁業者の 後継者不足</p> <p>(1) 水産業 水産資源の減少と 赤潮等の環境変化</p>	<p>(1) (2) 学校での職業説明 体験など</p>	<p>話が大きいので 地域や個人ででき ることは難しい</p>
<p>(2) 農業 離農、後継者不足</p>	<p>(3) 木を植えられる 機械があれば良い (開発が必要)</p>	
<p>(3) クマ ゴミ(不法投棄) 若い人が少ない 機械化が進み造林 をやらない</p>	<p>(3) 冬期間仕事ができ なく失業になる</p>	
<p>④ 商工会組織の 活用 (商品開発支援)</p>	<p>(4) ふるさと納税の 商品開発を 商工会で</p>	
<p>④ 地元企業 継承の 仕組み作り (後継者づくり)</p>	<p>(4) ふるさと納税の 業務を商工会 で行う</p>	
<p>④ 地元企業の 育成 (地元企業優先の 取引)</p>		
<p>2次交通の充実</p>	<p>(5) レンタルサイクル などの準備</p>	<p>(5) 町から補助金を 出す</p>
<p>訪れやすい環境</p>	<p>(5) 宿泊場所について 長期的な展望 がない</p>	
<p>飲食店の増大</p>		
<p>宿泊場所の展望</p>		
<p>ホスピタリティの 充実</p>		
<p>(6) 働く人が不足して いるが 若い人が町に残ら ない</p>		
<p>(6) 町外から人を 呼べるような 産業がない</p>		



分野別の課題

分野別のやるべきこと

地域や自分ですること

- ①町議会のインターネット中継
- (1) HP欲しい情報まですぐにたどり着けるか？
- (1)開かれた町政の推進
広報媒体の工夫
- (1) 更なる広報のあり方
- ②自治会の統合の推進
(人数の少ない中での限界)
- ②自治会活動への理解を深める方法づくり
- (3)業務量の増加に伴う人員不足と採用の不足に伴う人員不足
- ③積極的な人事交流
(漁組、農協との職員交流)
- (4)行政運営
手続きのオンライン化
↓
役場に行かずに手続きができるように
- (6)国際交流の推進
地域間交流
↓
国定公園
- ⑦短期移住の促進
- (7)定住・移住
定住してもらうため
・タクシーがない
・夜までやっている飯屋がない
- 通信ネットワークの充実
(7)

- (1) 議会の準備が整えば可能
実際の会議を見れば印象が変わるかも
- (1) 広報誌だけでは周知がしきれてない
公式LINEがあればもっとスムーズになるのでは
- (1) HPの見直しが必要
- (2) コロナ以降自治会活動が停滞した
- (3)(4) システム等の導入による人のいらぬ窓口などの推進
- (6) 町は予算を準備する
- (6) 3町の会議と4町の会議2つの設置は無駄
- (7) PR不足
空き家の活用

- (1) 実現したらみんなで見る！
- (1) 防災無線 IPが既に整備されている
町民全員がFBを登録する
ひとつ登録すると全てがわかるものがあるといい
- (2) 自治会活動に参加する
地域担当制度は使いにくい
- (3) それぞれの職場ですすめられるとよい
- (3) 産業団体との人事交流
- (6) 機会があれば積極的に参加をする
(国際交流・地域交流)
- (6) 町外の人にPRする
- (7) 待遇をよくすれば運転手の確保ができるのでは

分野別の課題

分野別のやるべきこと

地域や自分ですること

担い手不足

サンマなど魚がとれなくなっており陸上養殖等への転換

赤潮の影響で漁ができない

林業は危険な作業なイメージなので人が入りにくい

(4)商工業
地元にも少しもお金を使いたいのお店に取寄とか頼みに行くと釧路で購入できるよと別の地域の店を紹介された

(4)商工業 建設業
工事の発注量が減っているので町外での仕事がメインになりつつある

飲食店の減少
事業者の誘致

カキ祭りや夏祭り等を行っているが、関わる人が減り、活気がなくなっている気がする
何か活気がある祭りにできないか？

観光資源は多数あるが通過型観光がメインになっている

町内での雇用の場が少ない

新卒者の町外流出

地元高校に通う人数が減っている

人口減少社会に適応したICT技術の活用による省力化

地域おこし協力隊等外部人材の活用

週何回で海水調査を実施する

地元高校で調理師免許を取って町内で働きやがて出店できるシステムを作る
取り組み

宿泊事業者と連携した事業の実施(宿泊したら祭り期間に使えるクーポン発行など)

宿泊事業者の呼びこみ

カキ祭りなどを実施後は来場者の方々にアンケート調査を実施して次回から結果をいかして行く

イベント等の内容を見つめ直す機会をつくり、色々な分野から人を集め、イベント運営のプロジェクトチームの創設

観光資源の見直し、取りまとめをして情報発信を行う団体を作成し継続的に活動する

地元企業との交流会実施

子どもの頃から地元の魅力を感じる教育の場を増やす
職場体験だけでなくイベントの協力体験やイベント参加で

職場体験の際パンフレットやビデオを見せたりなどの工夫をする

ICT技術の活用(水質管理、搾乳、ドローン活用)

外部人材活用の推進

生活排水工場排水をできるだけ出さないようにする

地元高校に通うようにする

地元に通うと優遇措置があるなど

夏祭りが開催される7月第1週土曜日は町内企業は可能な限り休みにする

お中元やお歳暮の品をカキやアサリにする

林業を危険なことばかりのイメージを少しずつなくしていく

学校の職場体験だけでなく、イベントの協力やイベントに参加し、平日ならば公欠にしたり、土曜日授業の日に当てる

分野別の課題

町の情報が
町民に
行きわたって
いない

行政の窓口手続が
分散している

コミュニティー
組織の衰退

人口の減少対策として
移住・定住の政策は
行っているものの
大きな成果となっていない

働き場や地元高校に通う
環境を整える必要性

(7) 定住・移住 移住に際して 仕事の紹介	移住政策を 実施しても 移住・定住率が 低い
------------------------------	---------------------------------

分野別のやるべきこと

周知方法の
工夫
(SNS等)

窓口手続の
一元化

若い世代への
活動の呼びかけ

地元高校の魅力を
上げ、地元に通ってもらう
塾を開催するなど地元高校
に通っても次のステップに
行けるような取り組み

移住情報の
発信

職場体験事業の
実施

地域や自分ですること

SNSの活用
分野別に整理した
冊子の発行等

町内企業のHPで
相互リンクははって
サイバーシティを
構築してインターネット
上に情報発信する

総合的な
手続窓口開設

(地域・個人)
若年世代への
活動の呼びかけ

地元高校に通う
ようにする

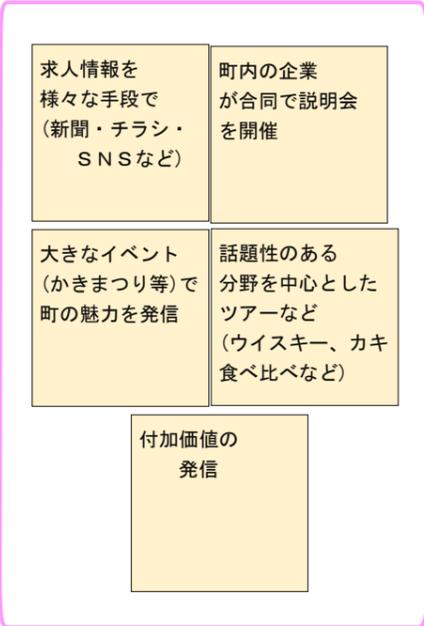
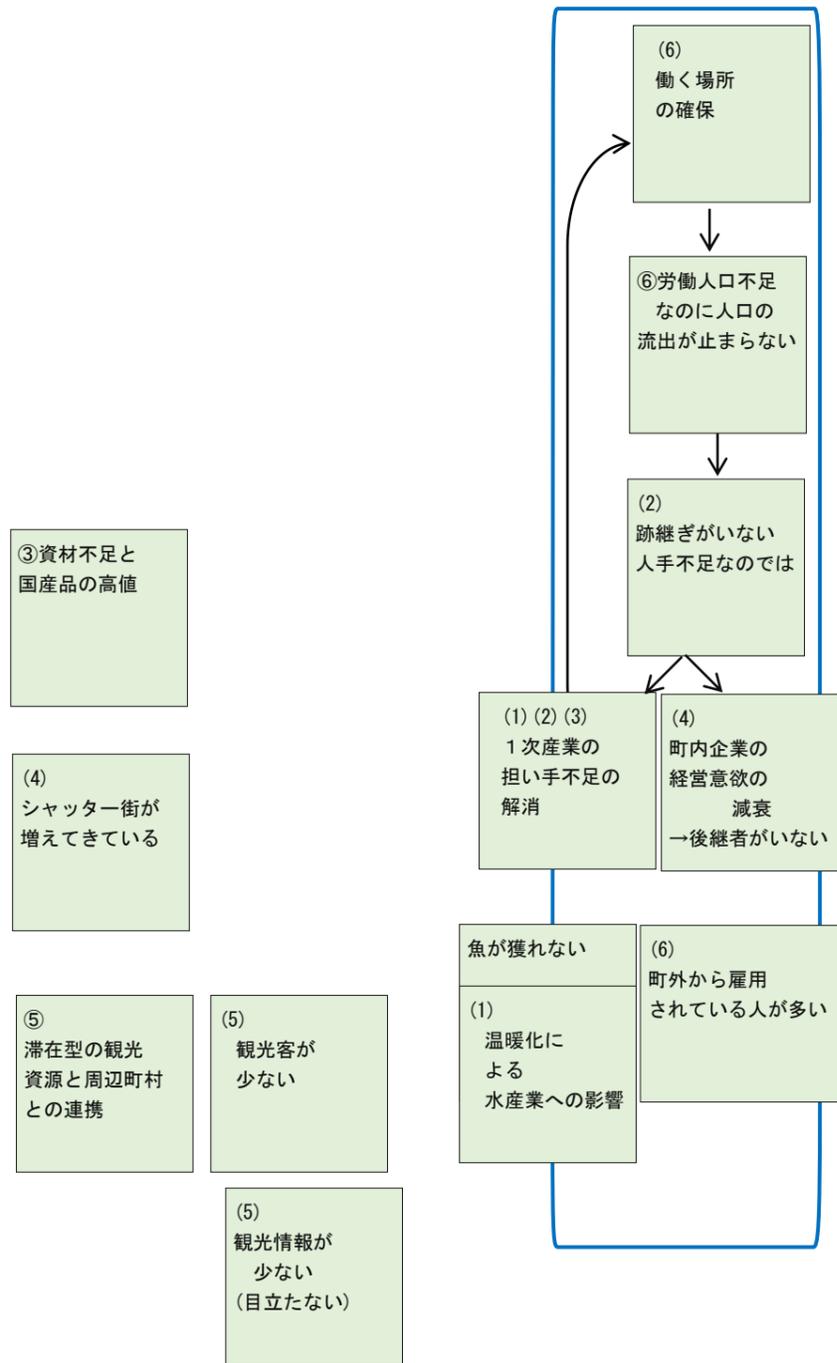
地元に通うと優遇
措置がある

移住情報の発信
職場体験事業の
実施

分野別の課題

分野別のやるべきこと

地域や自分ですること



環境の変化に柔軟に対応出来るシステム作り

民間レベルでの連携・協力関係を推進する
行政

自治会の回覧板等にイベント等の開催案内を載せる

祭りに積極的に参加し盛り上げる

地元のイベントに積極的に参加 (寄付等) する



分野別の課題

分野別のやるべきこと

地域や自分ですること

(6) (2) 自治会活動の復活 (コロナで中止されているもの)

③PDCAサイクルの確立

④交付金確保の面では健闘していると思う

(6) 外国人労働者との関係構築

(6) 交流活動の継続

⑥他周辺市町村との連携が進まない

(1) (2) (3) 情報の多様化に伴う周知の難しさ

(7) 定住者が少なく人口の流出が多い

⑦魅力的な企業が少ない (企業の魅力を伝えられない)

(7) 厚岸町から流出する人が流入する人より多い

(7) 住みやすい町づくり

(7) 定住者・移住者への補助金 (寒冷地手当…)

(7) 移住するにあたり大きなメリットのアピール

(1) 町外住民への厚岸町の特色を周知する

各々の仕事に誇りを持って臨む

長所の発信

移住 求人情報を様々な手段で (新聞・チラシ・SNS)

(6) 町の会社などをメディアに取り上げ (TV・新聞など) てもらう

(6) 企業の良さ 魅力を伝える 伝える方法手段

(7) イベント、人が集まる道の駅等で町の魅力を発信

システムの改善 イベントの立ち上げを行政に働きかける

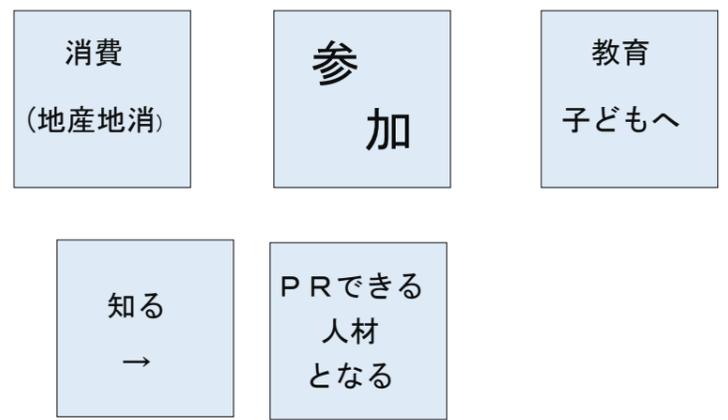
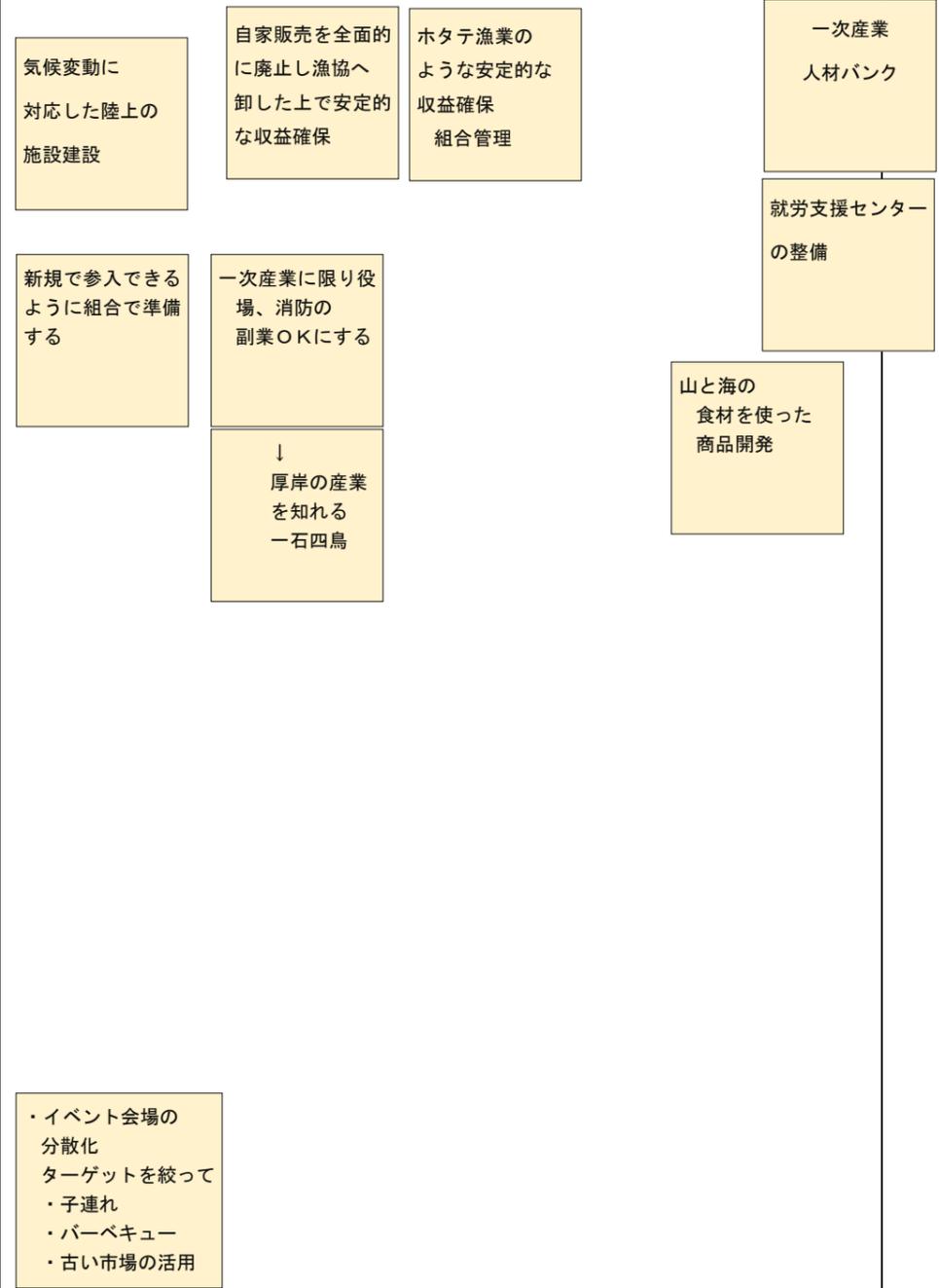
(1) 自身のSNSで出来る範囲での情報発信 (イベント参加の感想など)

季節ごとにイベントを開催する
 春 花見
 夏 夏祭り…など

分野別の課題

分野別のやるべきこと

地域や自分ですること



分野別の課題	分野別のやるべきこと	地域や自分ですること
<div data-bbox="204 380 382 554"> <p>・情報共有ができていない ・さまざまな団体との情報交換</p> </div> <div data-bbox="204 600 382 777"> <p>財政運営の硬直化</p> </div> <div data-bbox="204 823 382 999"> <p>情報交流の場を作る</p> </div> <div data-bbox="204 1346 400 1522"> <p>・小規模でのワークショップの開催</p> </div>	<div data-bbox="1080 413 1258 590"> <p>・共有のプラットフォーム (学校・自治会・保護者)</p> </div> <div data-bbox="1080 1434 1258 1610"> <p>自治会・団体へのよびかけ</p> </div>	<div data-bbox="1938 516 2116 693"> <p>・行政、組合関係の人事交流 見えない新しい発見がある</p> </div> <div data-bbox="1938 716 2151 892"> <p>・身近な人たちとの交流・対面・あいさつ 行事などの参加</p> </div> <div data-bbox="1730 854 1908 1031"> <p>町外から来た人アンケートをとる (転勤が多い警察など)</p> </div> <div data-bbox="1730 1056 1908 1232"> <p>うみえもんを活用したPR活動</p> </div>